BLADE COMICS

戦国妖狐 6

千代ノ巻

水上悟志

MAG GARDEN

9784861278334

ISBN978-4-86127-833-4
C9979 ¥571E

1929979005719

雑誌53937-08
定価：本体571円＋税
マッグガーデン

Cover Design Syntaku on Graphics

毎度どうも。
今回この第6巻で「第一部完」となりますが、現在しれっと第二部を連載中なので、打ち切りではないです。
7巻から第二部始まります。
刊行までしばしお待ちを。

そして今巻には戦国妖狐読切版「妖狐小歌」が収録されています。
内容が連載版とちょっとだけ矛盾があるので、
「まあおおむね実際にあったこと」という程度でお読みください。
どこが矛盾してたか気づかなかった人は、実際あったこと、
と処理して良いです。

戦国妖狐 6

せんごくようこ

水上悟志

戦国妖狐 6
水上悟志

戦国妖狐

水上悟志

せんごくようこ

6

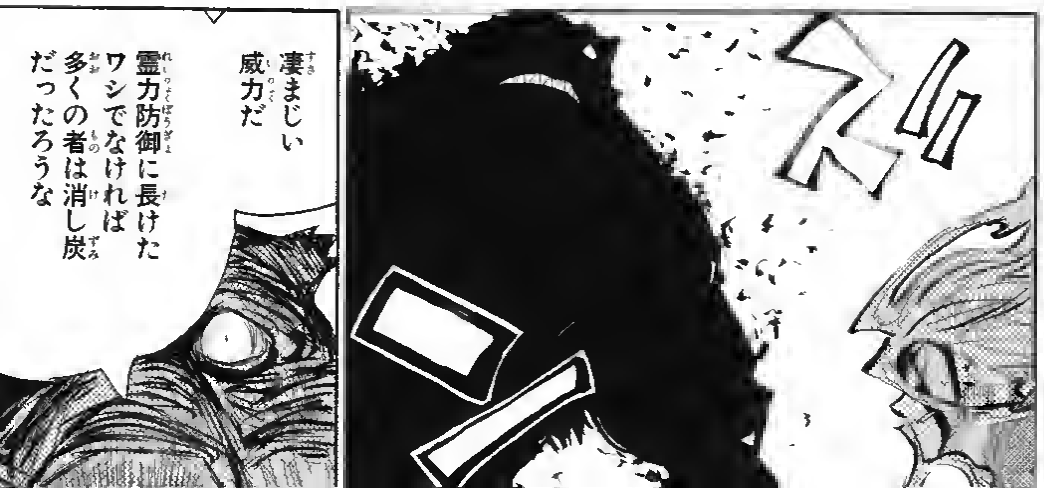
第31回　竹吉とバリー　3
第32回　泰山と山の神　31
第33回　神獣（前編）　59
第34回　神獣（中編）　95
第35回　神獣（後編）　119
妖狐小歌　143

ゴゴゴ

第31回 竹吉とバリー

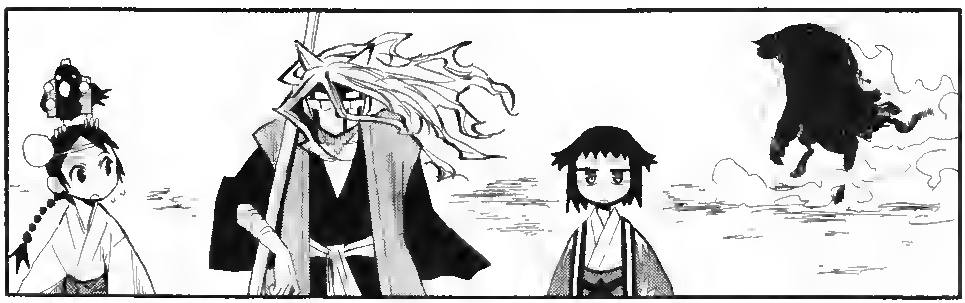
五行魂は
龍が片腕を
失う程の
大技…
その直撃を
受けてなお
立つとは…
うそぉ…
あわわ…

くっ!
待て
!!
!?


ズ
凄まじい
威力だ
霊力防御に長けた
ワシでなければ
多くの者は消し炭
だったろうな

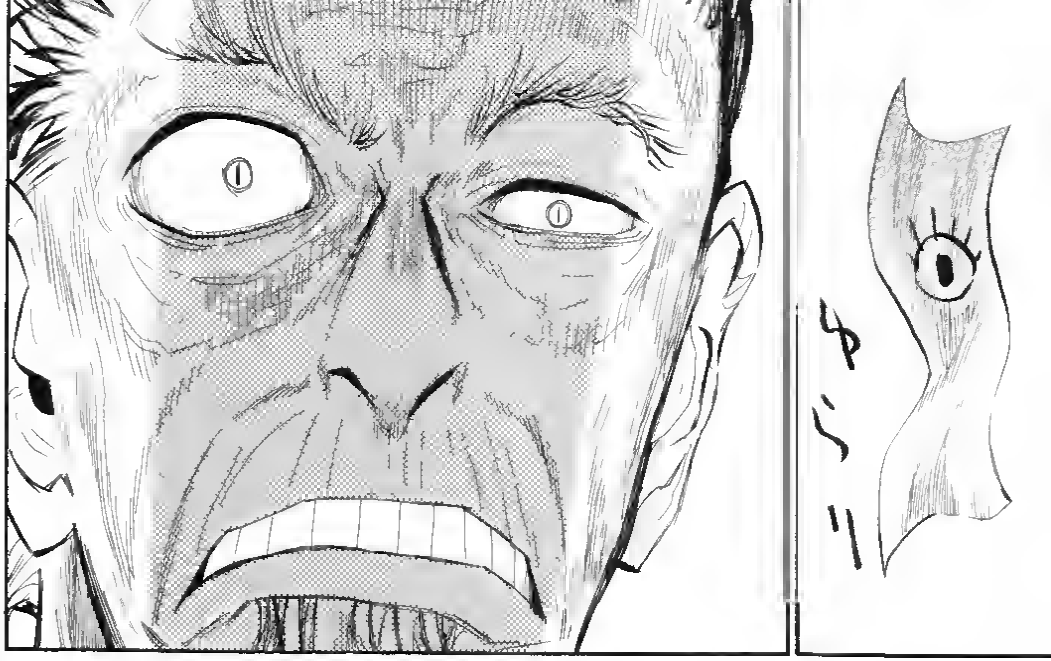
だが
霊力・気力
全て使い
切った
ワシの
負けだ
首を持って
行くがいい

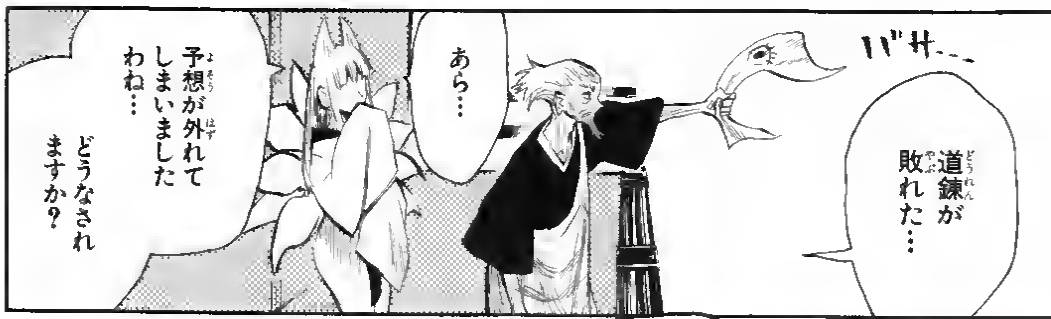
首など
要らん
私は欲しい
ですけど
ドス
要らん！
行くぞ
ぐっ…はい



山戸迅火
楽しかったか？
別に
苦しいだけ
でしたよ
そうか

ワシはまあまあ楽しかったぞ
じゃあな
…道錬
野禅の人や闇への所業
どこまで知って…
ドッ…
……行こう


ゆらり


バサ…
道錬が敗れた…
あら…
予想が外れてしまいましたわね…
どうなされますか？

逃げよう
……
はい？

もはや山戸迅火を
止められる者は居らぬ
開天の十聖の
まともなあの二人
でもムリだ
そもそも道錬と迅火を
一対一でぶつけるのが
最善と言い出した
のもその二人だし
…それは
同感だが

野禅様
ご自身は？
迅火くん達が来るのを
楽しみにしてらしたのに
そうだっけ？
おれは
研究者だ
戦は向かぬ
面倒
あら
ご謙遜を…

大体 精霊転化で
戦えば
今まで隠してきた
くずのはの存在が
一般僧兵共に
露見する
そうなれば
その後の
情報操作が
とんでもなく
面倒…
あっ
逃げたら逃げたで
好き勝手できる
この地位もパァか!!
か——!
どっち
向いても
面倒!

では
泰山様は？

泰山は
後始末が面倒だ
まともに動かすと
全部踏み潰して
しまう

まあ……

そうしたら
本山の再建で
研究が大幅に
遅れ…

……ん？

…くずのはの
存在がバレたり

地位を失う
よりはマシだな…

……

それはそうと…
烈深様のことを
お忘れでは？

先日大改造術式を
なさっていた
ではありませんか

ああ あれ
あれは迅火一行に
破壊されれば
よい

処分の手間が
省ける

烈深本人も含めて
処分予定品を一まとめに
しただけのものだからな

金も手間もかけたが
もう研究しつくした故

不要

さぁあ
第二ラウンド
だぜ
竹吉イイ!!

おお
行くぜ
バリィィ!!

ぬおお!!

ゴキッ
ン
ン
ん
はあ
はあ
くくく…
!?
どうした
荒吹(あらぶき)?

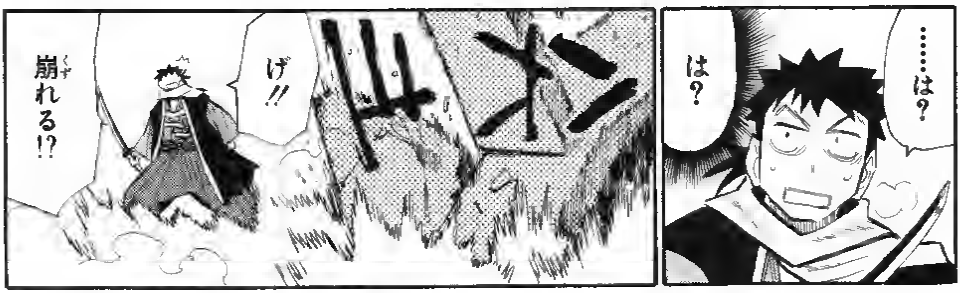
ははは！
最高だ!!
なるほど
霊力も剣才もない
持ち主だからこそ
我が風を押さえ込まれず
ここまで自由に飛べる
のか!!

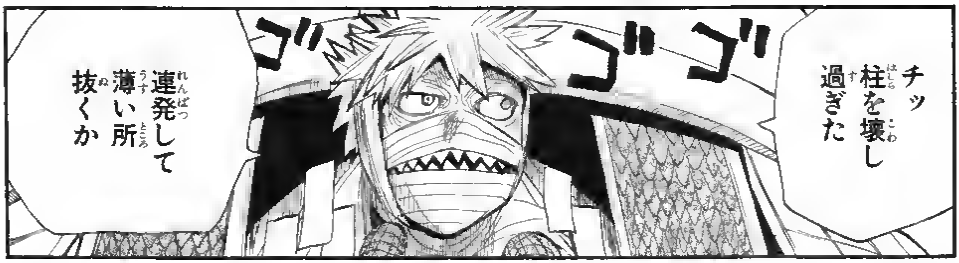
剣才がない
は余計だ
半分以上お前が
戦ってくれてんのは
ありがてえけどな
ケハハハハハ
!!

ドオー

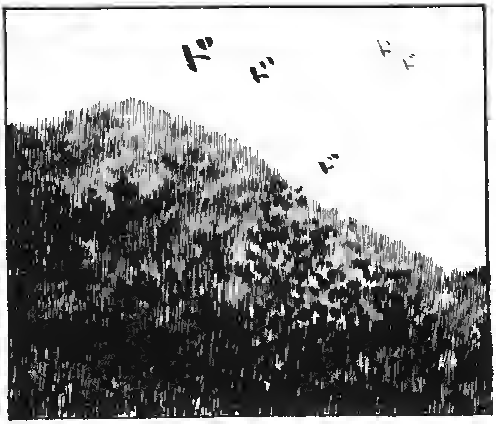
うおおお

ゴゴゴゴゴ
ザ ザ


……は？
は？
げ!!
崩れる!?

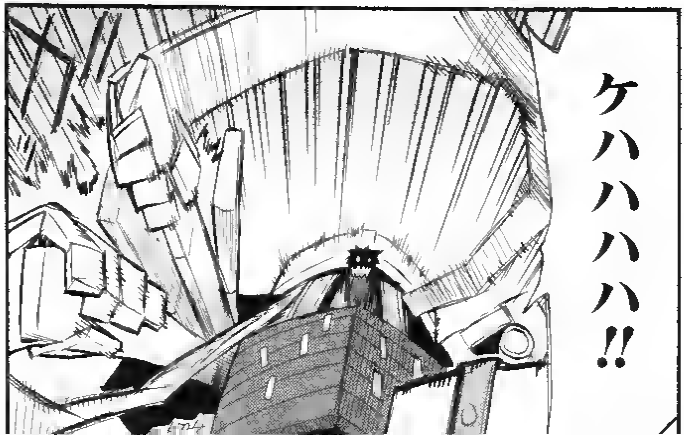

チッ
柱を壊し過ぎた
ゴゴゴ
連発して薄い所抜くか

オオオン

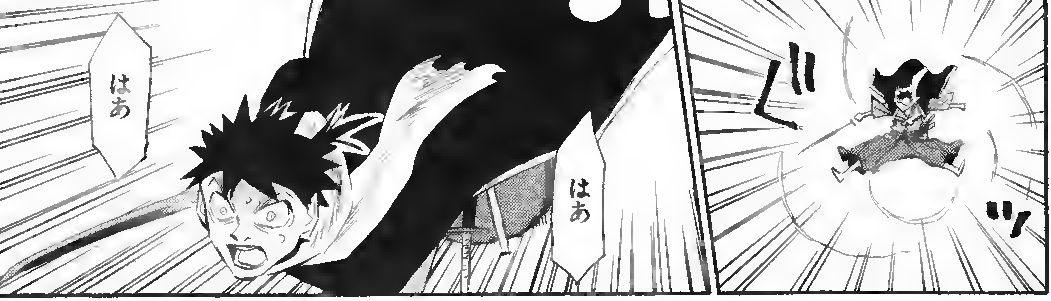

ドドドド

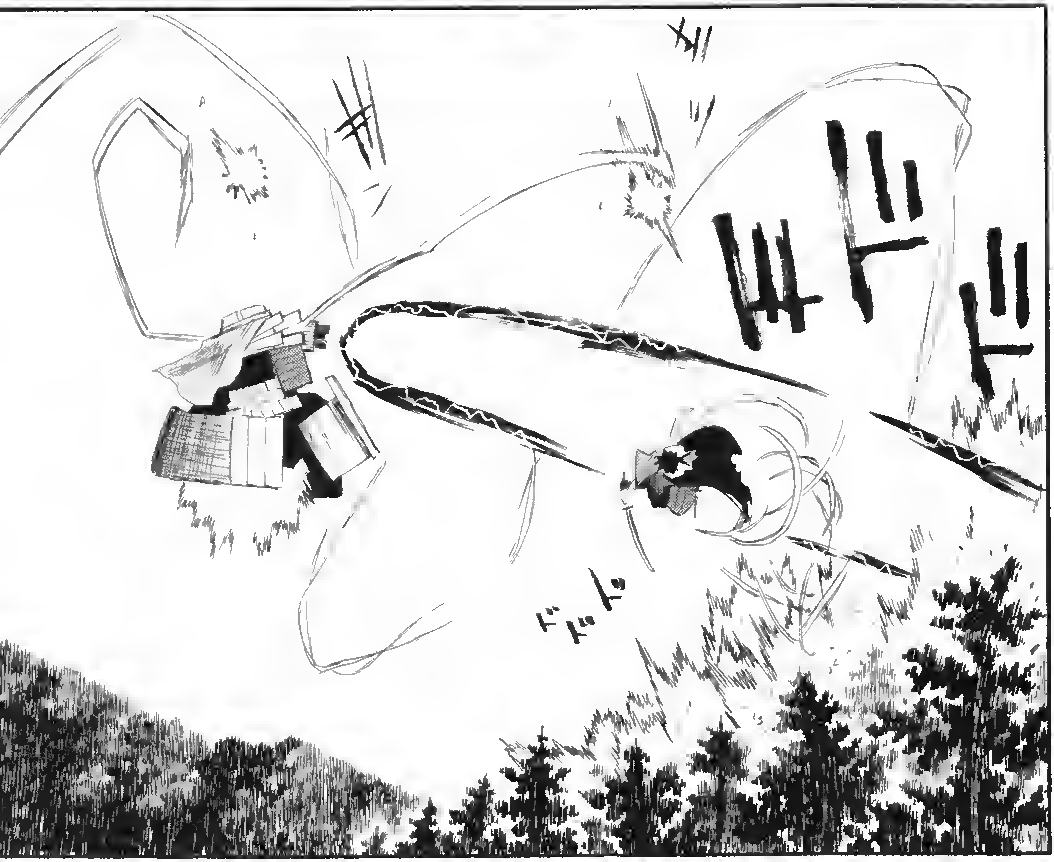
穴だ！
出られるぞ!!
……
ゴオオオオオ
ゴゴゴゴゴゴ

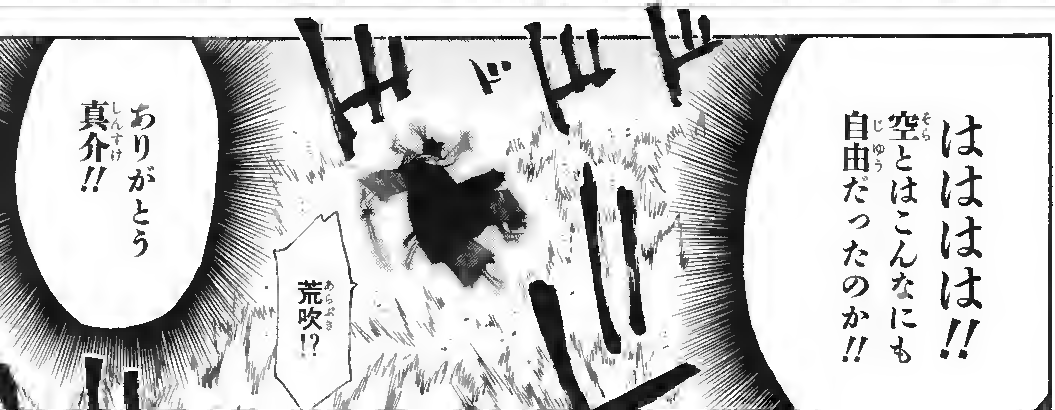
あいつ!!
あんな図体で飛べんのかよ


ケハハハハ!!

第三
ラウンドォオ!!
う
おおお


はあ
はあ


ドドド


ははは!!
空とはこんなにも
自由だったのか!!
荒吹!?
ありがとう
真介!!

我は翼!!
お前の翼だ
真介!!

どこへでも
連れてってやる!!
どこへ行きたい!?
我が主よ!!

行きたい所
なんかねぇよ!!
あいつ斬って
仕舞いだ!!

何と
小さき
ことを!!

ああ!?

一体何に囚われている!?
見よこの天を!!

果ても
仕舞も
ない!!

人も闇も
お前も奴も
同じだ!!
自由だ!!
我等 皆 共に
自由なのだ!!

いかなる
因縁も
憎しみも
この天には
無意味!!

…うるせえ

おれの怒りは
小さくなんかねぇ!!

無意味なんか
じゃねえ!!

自由になんか
生きられるか!!

こんなクソみてえな
世の中でよォォ!!

ケハハハハ!!

何ブツブツ言ってんだ
竹吉ィィィ!!

自由に好き勝手
殺したい放題すりゃ
いいじゃねぇかよ!!

どうせクソの世の中
なんだからよォォ!!

世俗など

乱世も
太平も

天の下には

斉しく
只地!!

只地

なんだよ

なんでおれに作られた人格のくせに

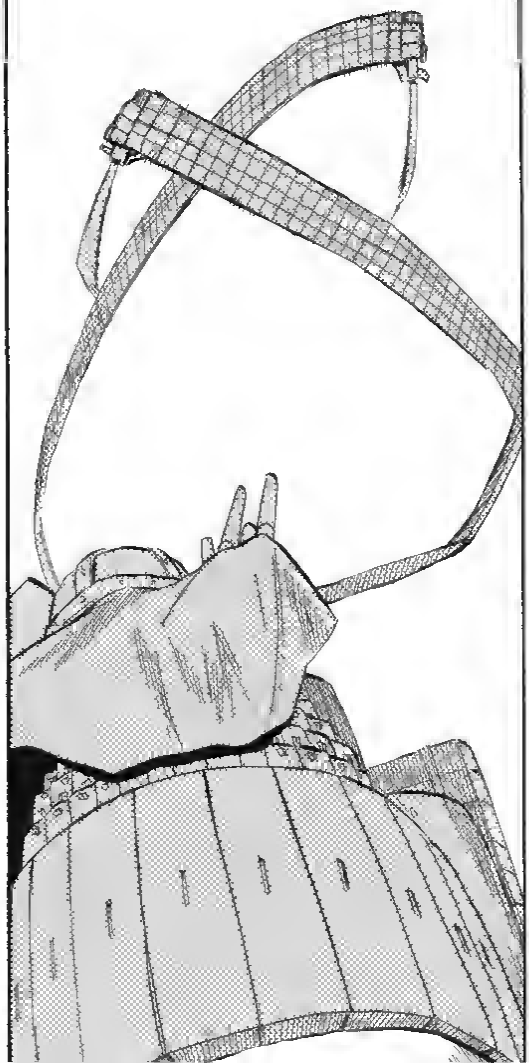
おれより先に何か悟ってんだ

ずりいぜ荒吹

憎しみなど
ここで断ち切れ

そのための
我が刃!!

天も
地も

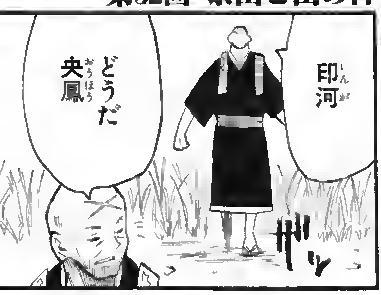


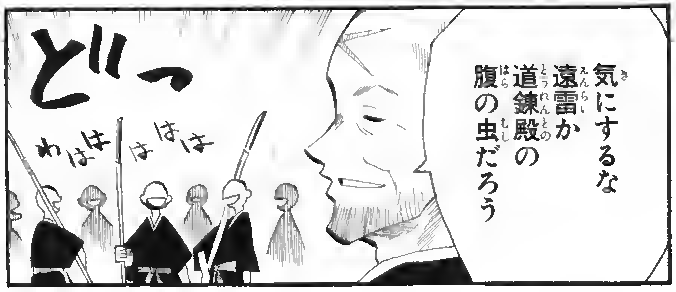
お前の兜割りて
天と地を縦に結び
全て吐きだせ!!

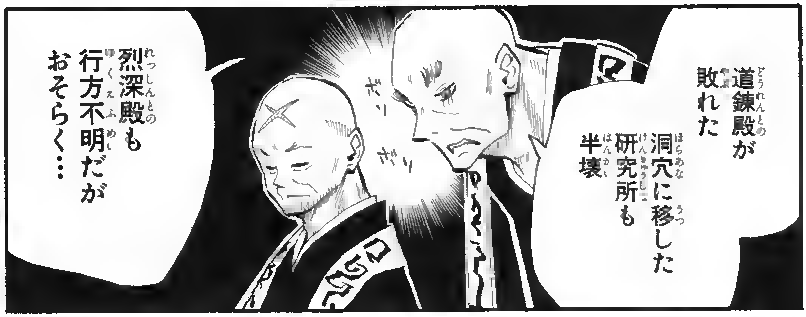
受け止め
許してくれる
天地割り!!!
おおおおおお!!

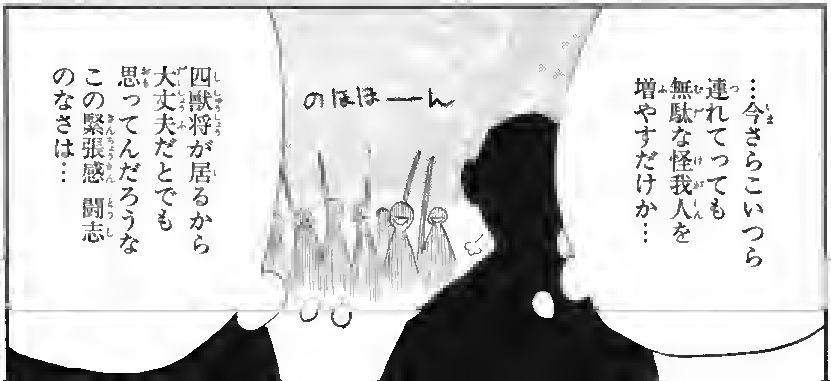
真介様
真介殿
あれは…
！
真介…!!

第32回 泰山と山の神









…断怪衆は終わりだ

いや…それは本山だけか

寺を離れ各地を旅する志ある障怪退治の僧達…

彼等が居ればいい

自ら足を運び己の目で悪を見極め練磨した己の身と技を武器に魔に立ち向かう者達…

本来彼等だけでいいのだ

断怪衆とは

超兵計画…霊力改造人間…

今我等は志を忘れた報いを受けているのかもな

……力のみを求め過ぎた

第32回　泰山と山の神

ドオン

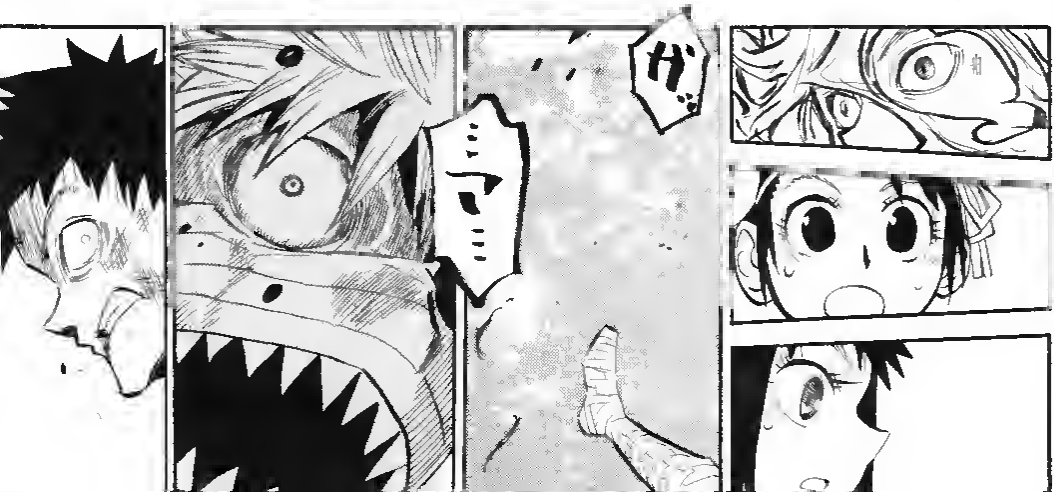
ドオーン

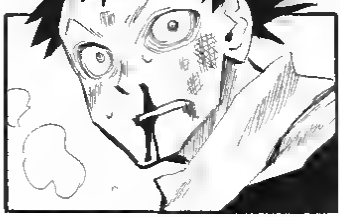
ビキ
アー
ビキ
アー

ハア
ハア

ガ
キィィィィ!!
イィィィ!!!
……ッ!!

ドゴォン!!
真介(しんすけ)!!
ドゴォン
ドゴォン
ドゴォン


ヤ…
…ッ



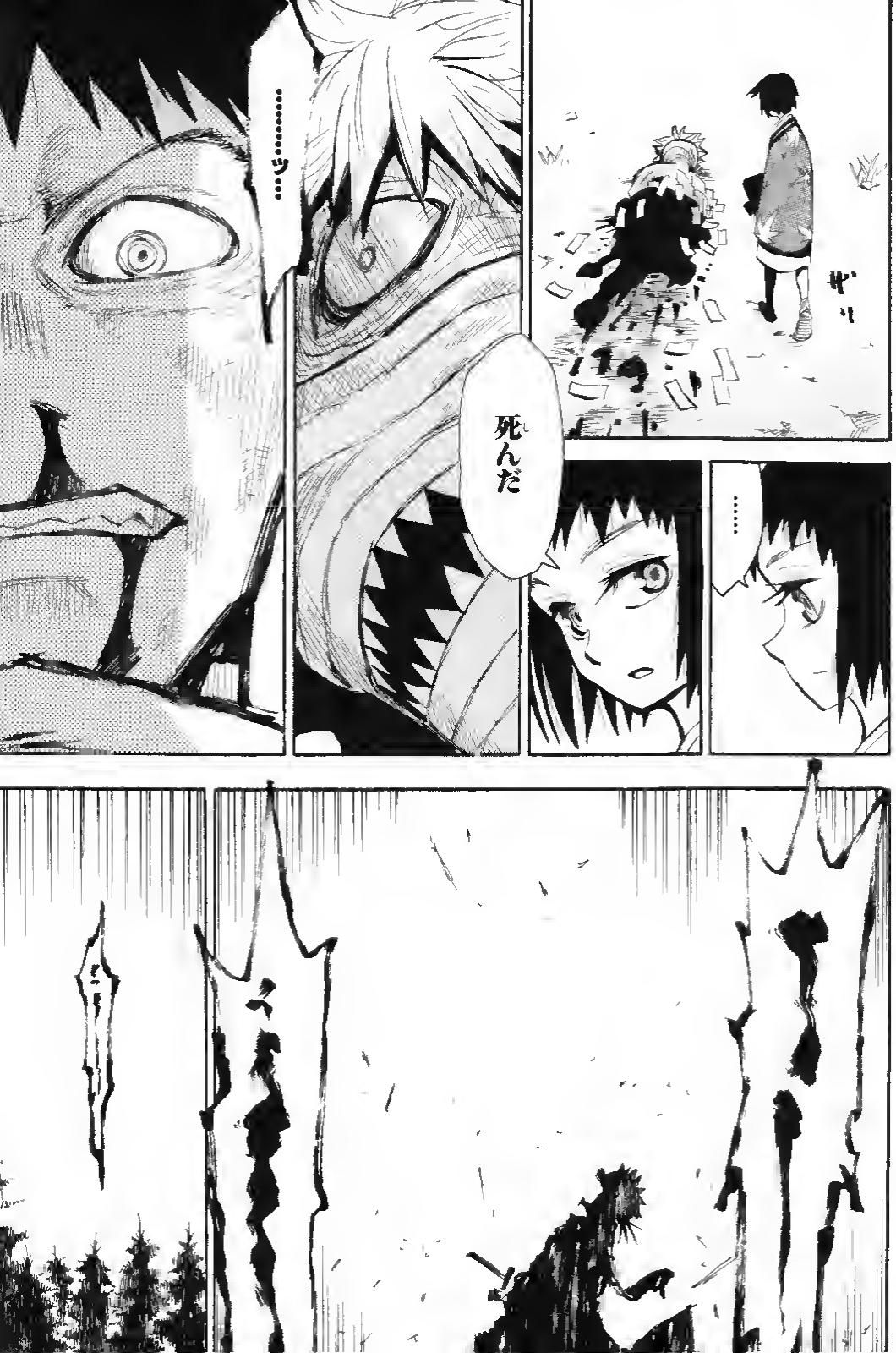
呪符で
身体を形作る
霊力が切れ
たのか…

ひッ!?

から…
マ
マ
……

ああ
ああ
おれの
おれの
身体…ッ
…からだ…

ヤッ


……
死んだ
……ッ…

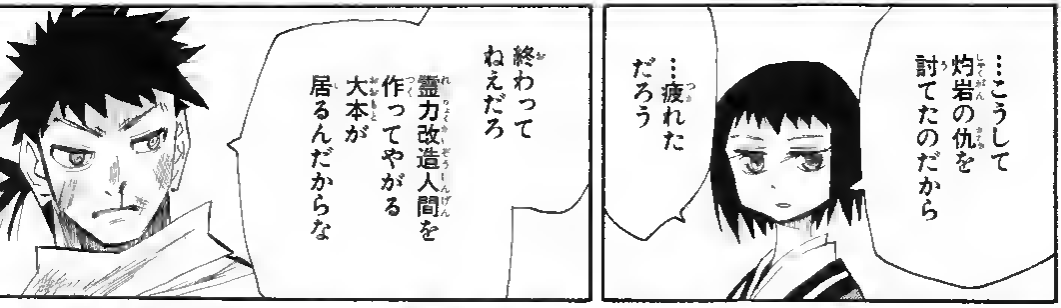
これは…
ズズ…
魔剣の霊力が上がっている…
素晴らしい…刀の闇化とは……
なるほどこれで戦えたのか…

断怪衆四獣将 烈深……袋男…何者だったのだろうな
四獣将なのに霊力改造人間でもないようだったし妙な言葉を使うし…

……こいつはバリーだ
バリー・ザルモア…
…何者でもねえよ

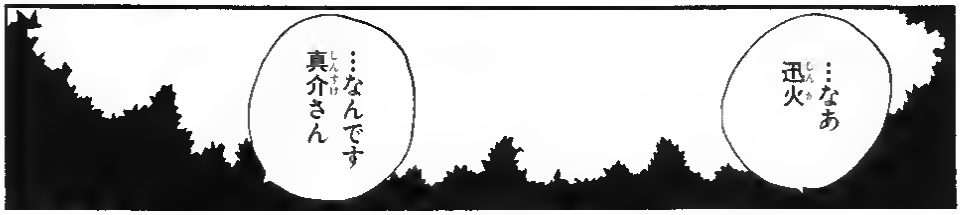
ちゃ…
…刃にして翼…か
おれとバリーが憎悪に溺れてバケモノになろうとしてた時
…荒吹だけが空を見て己を見つけ〝自分〟になろうとしていた

…真介
もう
降りても
いいぞ
ポロ…。


…こうして
灼岩の仇を
討てたのだから
…疲れた
だろう
終わって
ねえだろ
霊力改造人間を
作ってやがる
大本が
居るんだからな

それまではおれも
まだ鬼をやるぜ
…そうか
行くぞ

じゃあな…
…迷わず地獄に
行けよ


…なあ
迅火
…なんです
真介さん

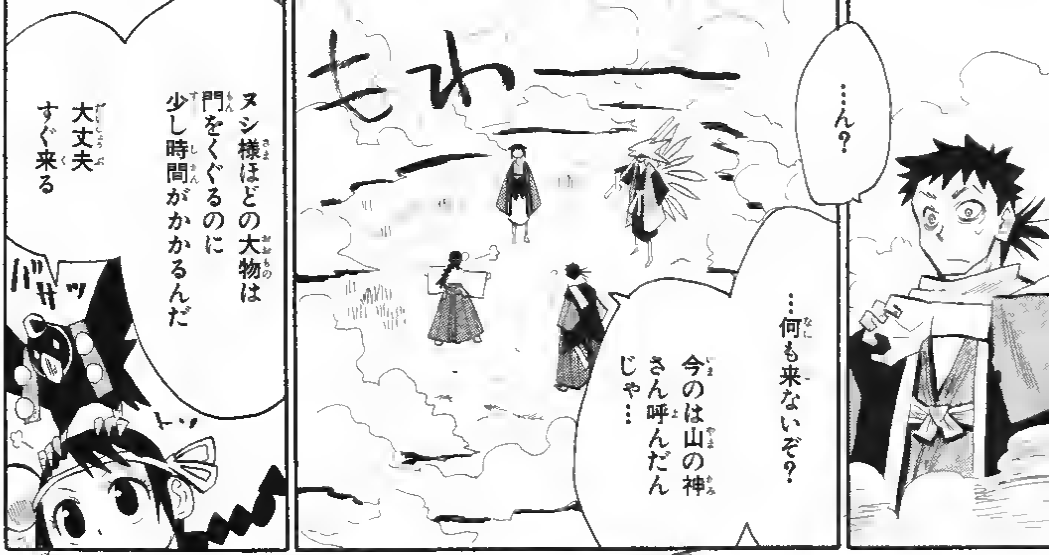
…そういや
お前に名前
呼ばれたの
初めてだな
そうでし
たっけ
でな
に

ああ
ああ
……
お前まだ
闇になりたいと
思うのか？
…おれが思うに
闇と人ってのは
多分……
……
同じもの
同じ存在
違うのは
肉体だけ
魂は同じ…

……で
なりたいのか？
同じなんだぞ？
当然
器が違う
ようやく手掛かりが
見えてきた
ところです
迅火！
手掛かりとはまさか
あの霊気の腕で
頭の中をいじる
ことではなかろうな!?
あの安易で
急激な変化は
危険だ！
もうするな！
ですが…
闇になれたら
夫婦に
……
…袋男の異形を
見ただろう…
安易に力を
求め過ぎた者の
末路を…
ああはなって
くれるなよ
迅火…
姉上…

この霊気…
なんだこの圧力…
まさかこれは…
コジロー!!
バサッ
合点!!
バサッ
!
どう!?
間違いないよ
姿形は違うけど…

泰山様だ!!
ズーン
ズーン
!!
了解!!
御山
魂寄せ!!
おいでませ
オオヤマミツチヒメ!!

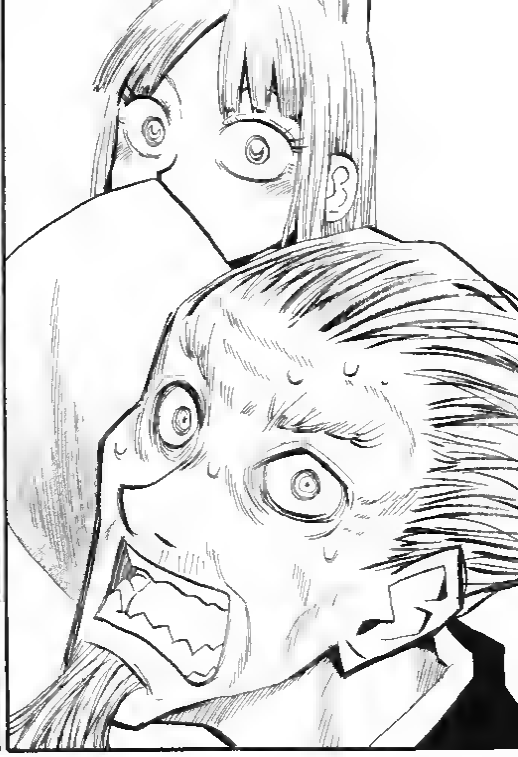

…ん？
…何も来ないぞ？
今のは山の神さん呼んだんじゃ…
ヌシ様ほどの大物は門をくぐるのに少し時間がかかるんだ
大丈夫すぐ来る

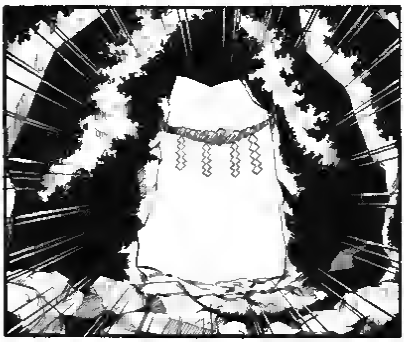
ドドドドドド

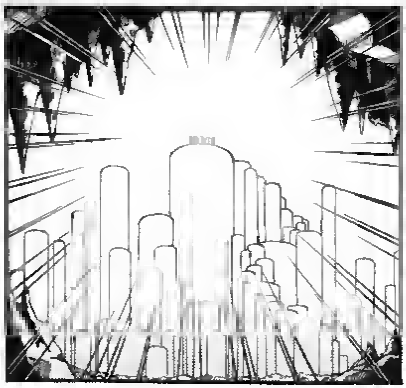
ゴゴゴゴ

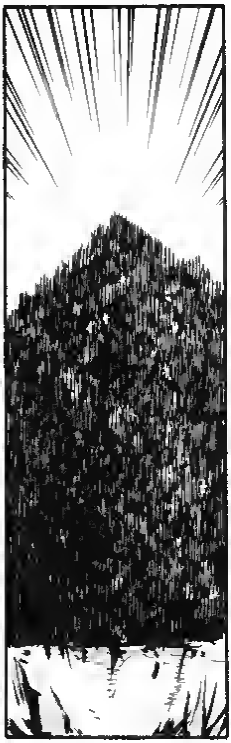
居たな
山戸迅火
悪いわね
たまちゃん
完全状態の
泰山の拳を
受けよ
早くお逃げ
踏まれない
うちに
ズドドドド
!!
あ あれが
城の闇…!
山神の
末席…
泰山!!

ゴゴ









りんず!!
呼び寄せ
ご苦労!!
まったく!! 人間なんかに
使われてるんじゃないよ!!
泰山!!
おしおきの
時間だッ!!
お山
バキバキバキ
発進!!

のわあああ!?
ひゃあああ!?

……
ほらな
不毛なんだよ
山に
足が!?
なんだ
アレ
うわああ!?
いくら力を
求めても
にゅいーん
にゅいーーん

きゃ――!!
ヌシ様
サイッコー!!
はは
はは
はは
より強い力に
塗り潰し返される
だけだ…
…なに?
なに今の?
山が城を
蹴った…
もう
何がなにやら…
きゃー

第33回 神獣（前編）

野禅め
精霊転化か!!
山神相手では
もはや勝ち目はない
くずのは
全力で
逃げるぞ!!

第33回 神獣（前編）

くずのは…
行きましょう
姉上
ああ

迅火様!!
追うぞ荒吹!!
ニヤッ
来るか?
あじゃあせっかくなんで…
もう役目終わってるけど

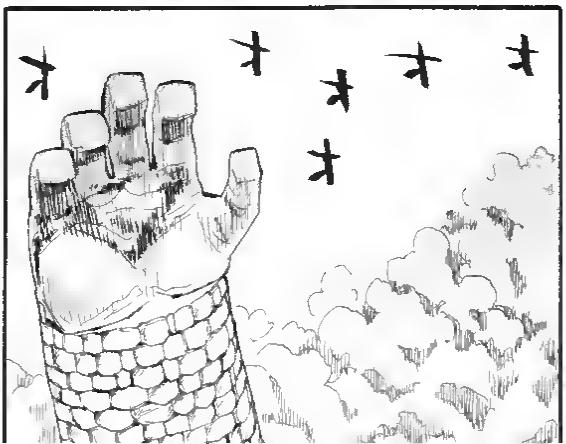
ゴォォォ
しかしでけーな
どうやって動いてんだこれ
ヌシ様のありがたーい神通力によってです
逃がさないよ野禅
キミにもおしおきを受けてもらう
ヒトごときが地神を操ろうなど言語道断！
ゴゴゴゴゴ
ゴゴゴゴゴ

ドドド

ドン
ドン
ドン
ドン
ドドド

ドドドドド

ごめーん泰山
痛かった？
あはは！



ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ
金
やるね
泰山の土精の
霊気を
金呪防御に
転用したのか
土生金
金剋木
なるほど
それなら
雷翔樹箭を
防ぐことも
不可能では
ないな

ただの霊力防御ではこうはいかん
見たか山神(バケモノ)
これが知の力
ヒトの力だ!!
城が…!?
あれが泰山様の真のお姿です!!
あの猛攻をしのぐとは…
ほう…

言うじゃないか
人間風情が
あ
!!
山の神!?
逃げるぞくずのは!!
逃がすな迅火!!

迅火!!
おれを投げろ!!
ええ!?
急げ!!
くずのはの後ろ頭に喰らわしてやる!!
知りませんよ!?
くずのはあ!!
へっ!?

あ
あ
あ
あ
ん？
たまちゃッ…

くっ
くずのはぁ
あああ!!
おおお!!
ちっ!!

一瞬で決める!!
木火土金水風雷!!
全尾開放!!
五行弐神突!!

バカが
キサマ相手なら単純な霊力比べにも負けんぞ
全尾開放!!
九頭龍咆!!
ドドドドド

!!
お前は七尾
おれは九尾だ
二手足りなかったな

迅火様！
くっ…
さっきから
起こってることが
ムチャクチャだ…
あんな戦いに
おれが割って
入れるのか…!?
いや！
なんと
しても…
さて
よくも くずのはの
美しい面を
足蹴にしてくれたな
たま
とやら
っ！…

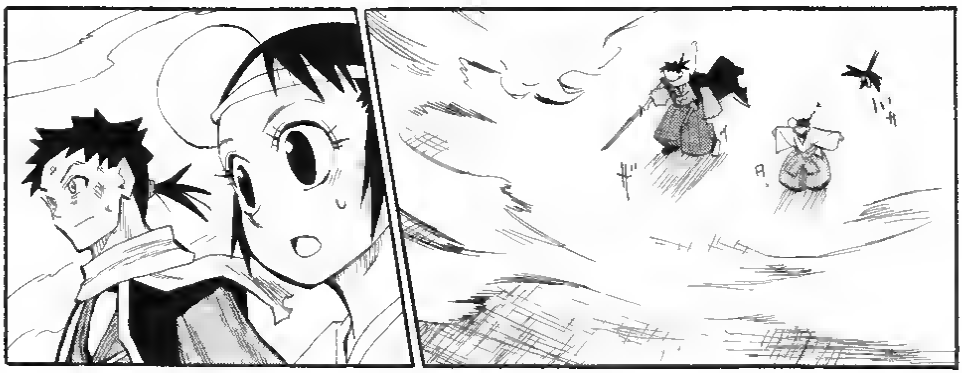
黙っていろ
野禅
ひどいわ たまちゃん
鼻折れてない？
あ？
折れとらん
折れとらん
さて
くずのは
久しぶり
だな
そうね
40年ぶり
くらいかしら？
おいおい
今話し込んでる
ヒマはな…

なんつー
元気だ
若いって
いいなオイ

どうも
母娘の感動の再会
をジャマするのは
ヤボですよ

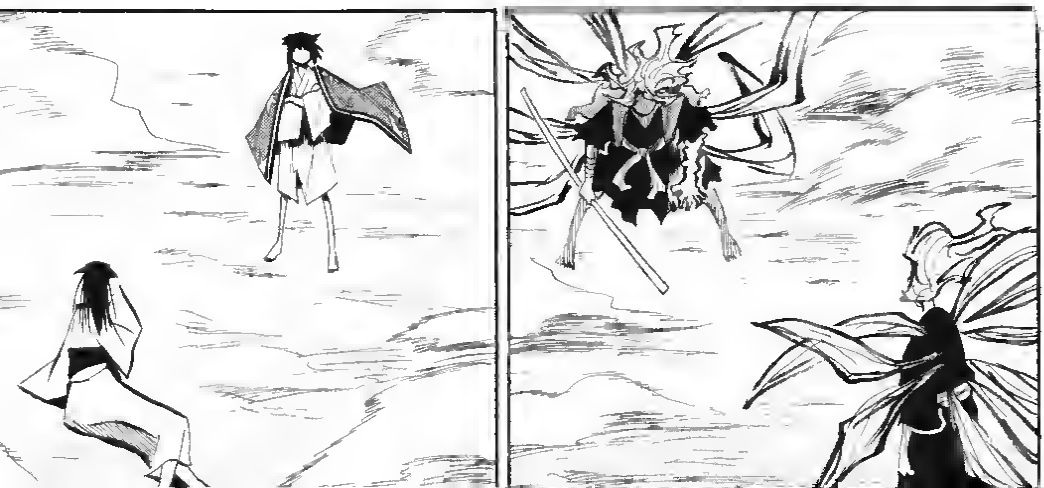
うるせえガキ
大人は忙しいん
だよ
付き合い
きれるか
まあ
そう言わずに

一手ご指導願いますよ
まぐれで道錬を倒したくらいで調子に乗るなよ小童



…ついここに降りちまったが
…この泰山 突然起き上がったり
しないだろうな
さっきのヌシ様の攻撃で
ノビちゃってると
思いますが…

ヌシ様
りんずです!!
カァー
りんずが
泰山様の
腹の上に!!
真介くんめ
余計なことを…
りんずが居たら
さっきみたいな大ざっぱな
追撃ができないじゃないか



…山神が追撃して
こないな…
迅火一行が居る
からか？

…誰か人質に
取れば逃げられろか？

そういや
あれは
山神の巫女か

人質にするなら
あいつだな

まったく
とんでもねえもん
召喚しやがって…
研究所も研究に
没頭できる地位も
全て台無しだ

ここを脱したら
まずは断怪衆
運営幹部の屋敷を
襲って金子をいただいて
…あーめんどくせ

ところで…
いくつか
聞きたいことが

あ？

あなたの
研究資料は
どこに？

我が師 黒月斎
とはどういう
関係で？

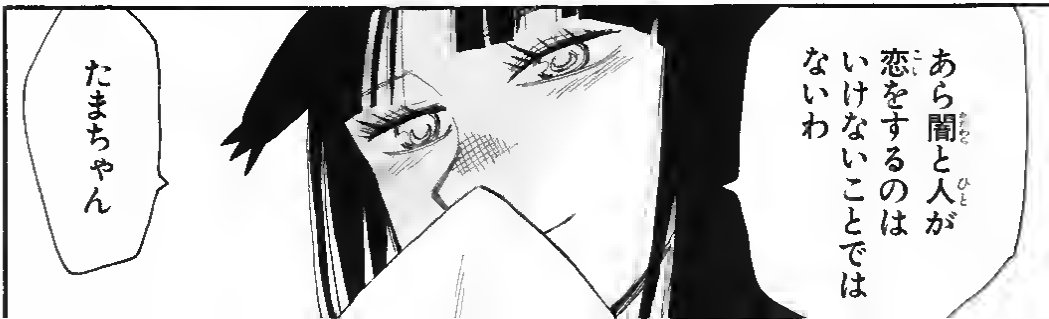
教えねえよ

バーカ

あらあら
野禅様ったら…

ていうか
おれの男
って言うな
迅火が勝つに
決まっている
義弟だ

どちらが勝つ
かしらねえ
私の男と
あなたの男


たまちゃん
あら闇と人が
恋をするのは
いけないことでは
ないわ

やかましい!!
お前は見境いなさ過ぎだ!!
親に向かってお前とはなんですかお行儀が悪い!!
そっちこそ男関係の行儀が悪いぞ!! 惚れた男の悪事を野放しにするとは!!

男の全てを許すのが私の恋よ
あなたは違うの? たまちゃん

源蔵や迅火は闇や人の命を弄ぶ非道はせん!!
ほら惚れてるじゃない
しかも源蔵? 山戸家の…迅火くんのお父様にも惚れていたの?

源蔵は…
おれは…
いいのよ
いいのよ
うふふ
恋多きは
命多きこと
何もいけない
ことはないわ
……恋…
恋などわからん…
ただ…
人間が好きだ

悪しき者も
優しき者も見てきた

闇も人も中身の
根本は大して変わらんが
霊力強き闇より
か弱き人の方が

少しだけ…
意思の強い眼を
している

人間の顔が作る
表情が好きだ
愛嬌がある

もしおれが
恋をしていると
いうのなら
それは

人という生き物
全てに

なら
こちら側へ
おいで

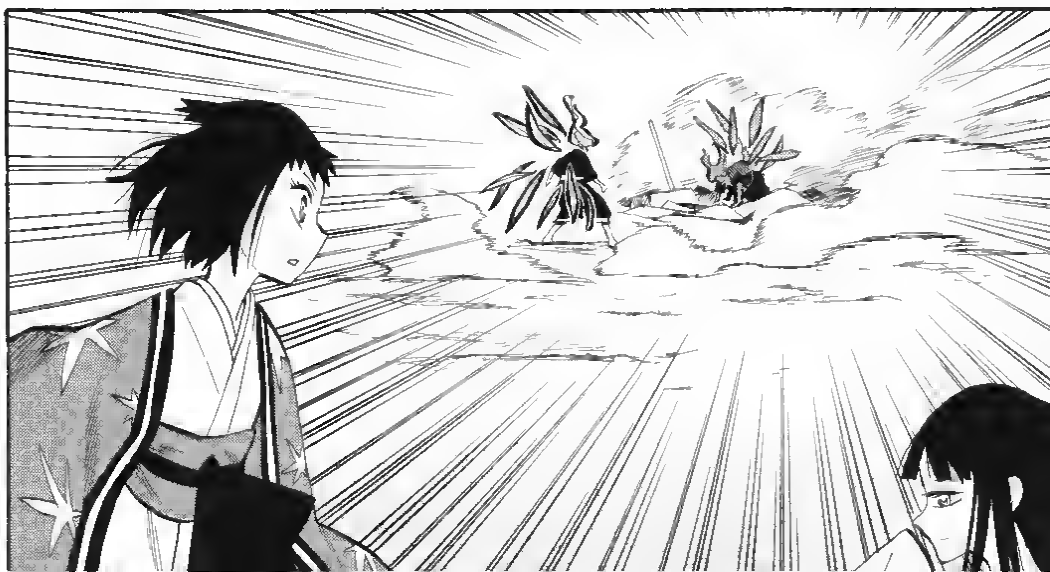
野禅様に人間に
してもらいましょう？

おれは闇だ
闇のおれを捨てる気もない
源蔵も迅火も…灼岩も真介もりんずも
闇のままのおれを受け入れてくれる

おれはおれのまま
やつらが好きだ
だから
ここへ
来た！
人と闇に仇なす
貴様の男の非道を
止めるため!!

あらでも…
その迅火くんが
今
人の道を
外れようと
してるみたい
だけど？

…なに？
迅火！
何やってんだ!?
迅火様！
それは…



キサマ！

げふ
意外に
旨いもの
ですね
神の肉

おいおい…
泰山の肉ごと
霊力を喰らおう
なんて
いくらそのままじゃ
おれに勝てねえ
からって
そこまでするか？
人に戻れなく
なるぞ

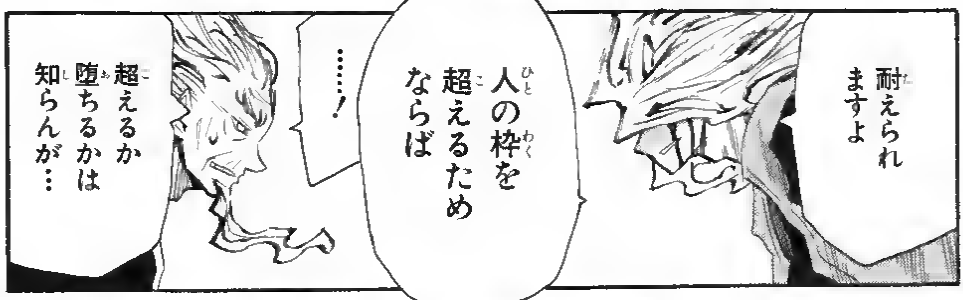
そりゃ結構
人の身など
不要…私は
闇に……
ぐっ!?
ぐ
うう
……！

八本目と
九本目…!!
光の尾と
闇の尾…!!
迅火くん…
それは
よくないね
黒月斎でも
そこまで
しないよ
これで
九尾
追い付き
ましたよ
マジかよ…
アリか
そんなの
迅火——ッ!!

山戸迅火…
キサマもこれで
九尾か…
無茶苦茶な奴だな
確かに霊力は
おれと並んだが…

第34回 神獣（中編）

神雲と戦い
片腕を失い
道錬の拳に
滅多打ちに
された
その心身が
そんな急激な
変化に何度も
耐えられるのか？


耐えられ
ますよ
人の枠を
超えるため
ならば
……！
超えるか
堕ちるかは
知らんが…

なるほど確かに
ヤバイ領域に
立っているようだな

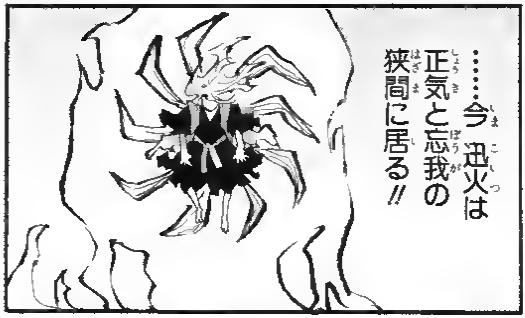
第34回 神獣（中編）

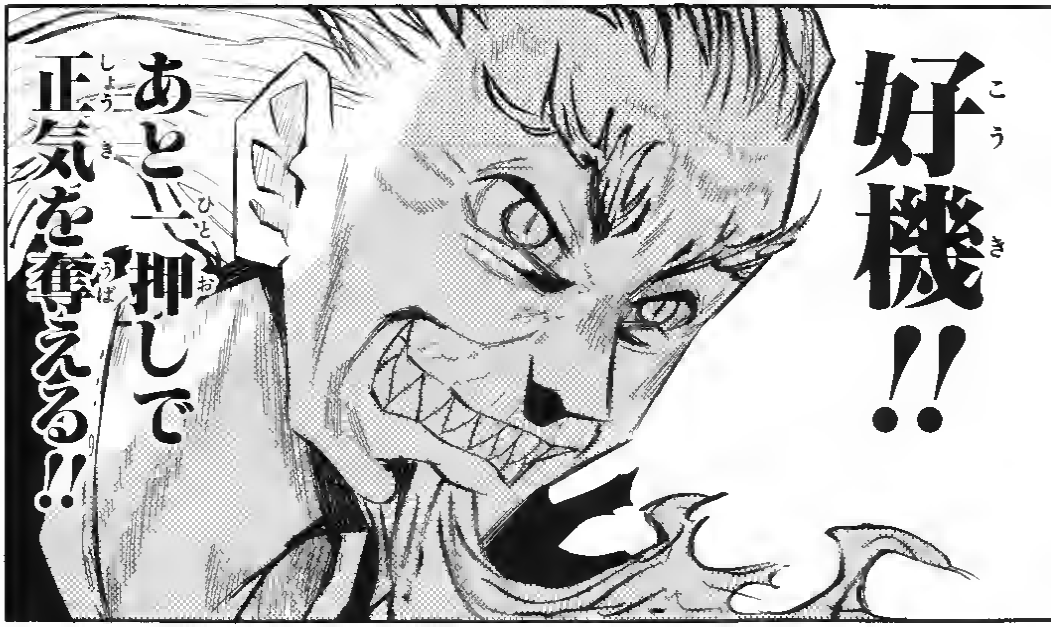
迅火！

……
互角…？
いや迅火くんの
霊力の上昇が
止まっていない
……これは…

ちっ！
めんどくせえ
ガキだ！
成りたてのくせに
結構動きやが…
……ん？
ケケケケ!!
迅火様!?
うっ!?
……!!
あーあ
あらあら
これは…
うっわ
おい
おい
山戸迅火？

はい？


……今 迅火は
正気と忘我の
狭間に居る!!

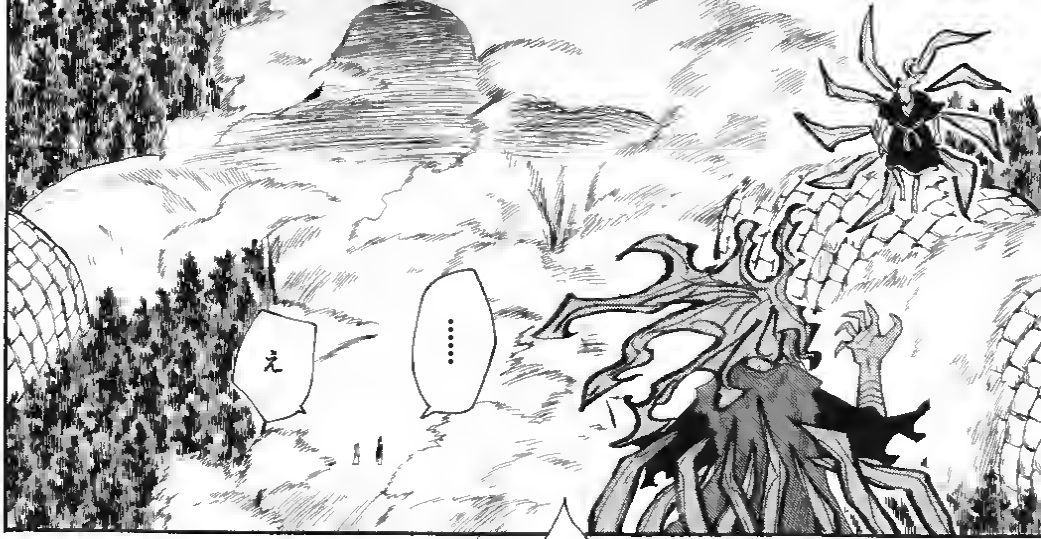

好機!!
あと一押しで
正気を奪える!!

迅火を狂気の
奈落に蹴り落とし
幻術で操り山神に
けしかけてくれる!!

!?
にやり

来い
山戸迅火！
キサマに
我が逃走の
殿を務めさせて
やろう!!
狂え
獣!!

ア
ア
ア
ア
迅火(じんか)——ッ!!
落(お)ち着(つ)け
幻術(げんじゅつ)だ!!
たまは
そこに居(い)る!!


え
……

お姉様!?
居ませんよ!?
なに!?
なんで…
もう
どこにも
居ねえよ

お前が殺っちまったんだからよ

ハヒヒヒ
!!
!!
……!?

ズ
な……
天上
奈落

なんだ これは…!?

私の意識は
ここにあるのに…
私の身体が
勝手に戦っている
……!!

ドドドドドド
サマサマサマ

ふふふ
堕ちた…
んー!
んー!

迅火様…あわわ…
!!
くずのはが居ない!!
あいつがたまをどこかへ連れ去ったんだ!!
捜せるかりんず!!
あっはい
真介さんは?
おれは迅火に加勢する

正気を失ったままで勝てる相手には見えねえ
ドドドドド
む……無茶ですって!!あれに割って入るなんて…
かもな…だが

奴には何がなんでも
一太刀浴びせなきゃいけねェンだよ……!!

……
とにかく捜してきます!!
ッ

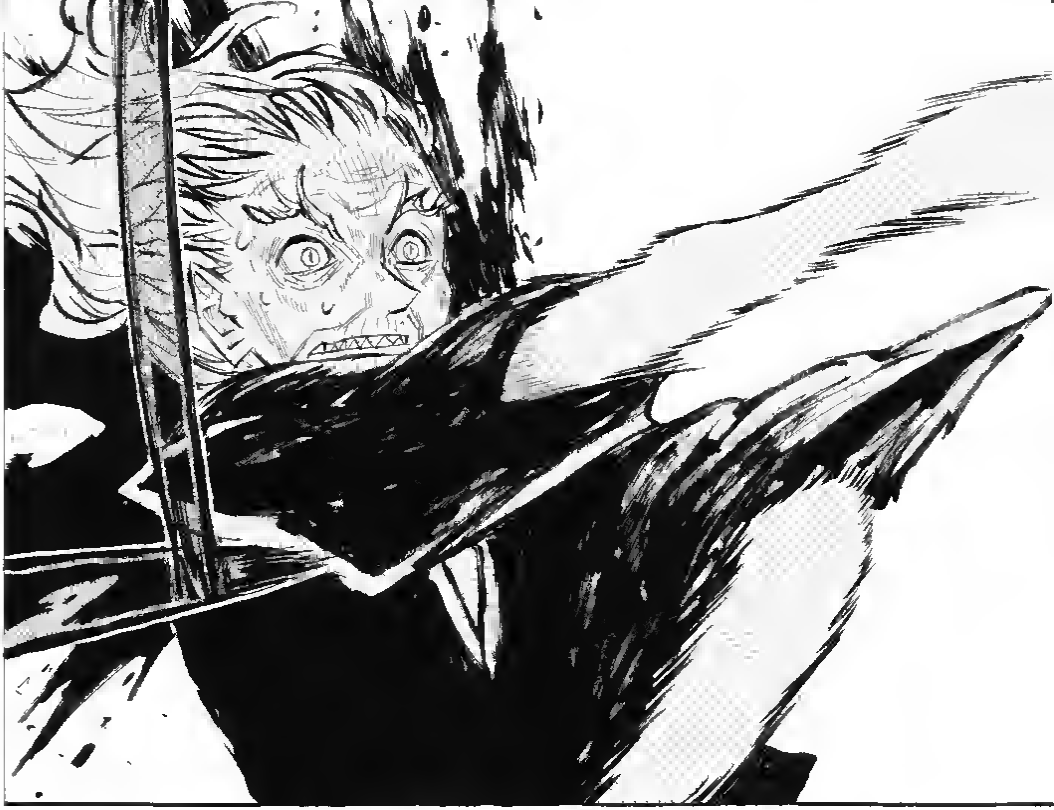
すー……
……
ヘバー…
くくく
ズ
!?
どれが本物(ほんもの)かわかるか?
こっちこっち
おバカ!!
ドロン
なんで妖精眼(ようせいがん)なのにひっかかるんですか!!
そんな幻術(げんじゅつ)…

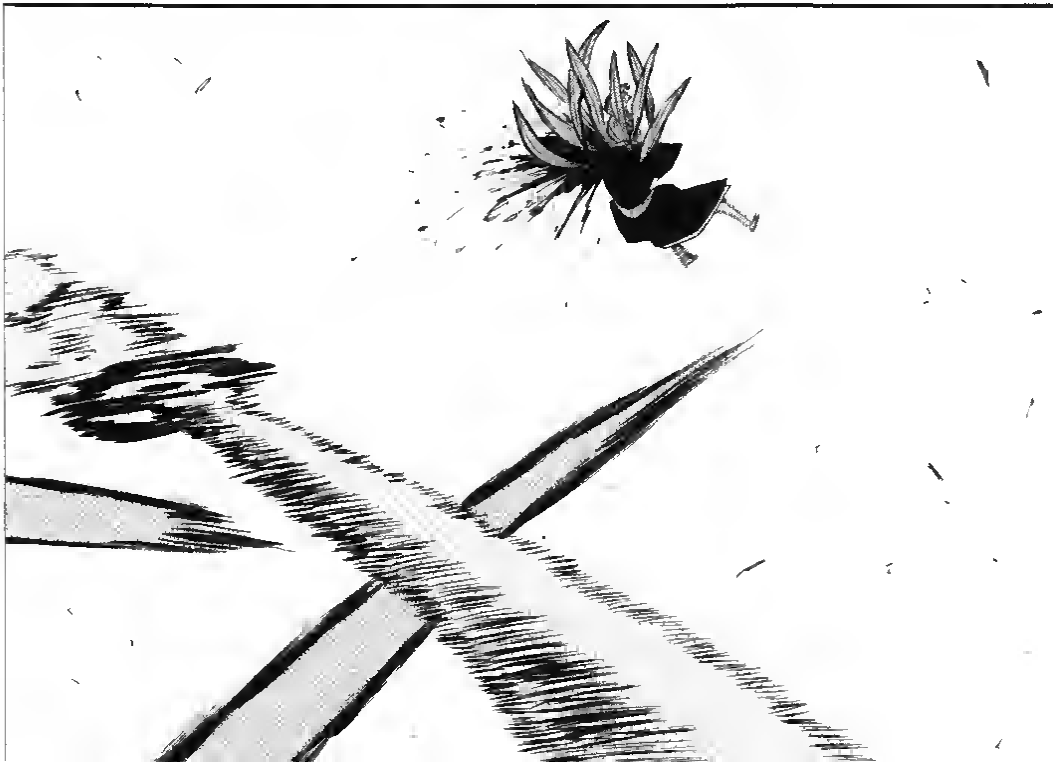
だめだ…
早く正気を
取り戻さないと
……!!
さっき攻撃した
姉上だって
本当は幻術
だって
わかっていた
のに……
なんで……!!

ほれほれ
くくく
こっち
こっち
ゴゴゴ

追うな!!
それも
幻術だ!!
それに
そっちは
山神様の方向…

バ――カ
本物はこっちだ
そのまま山神に突っ込め
おれはそのどさくさにとんずらだ



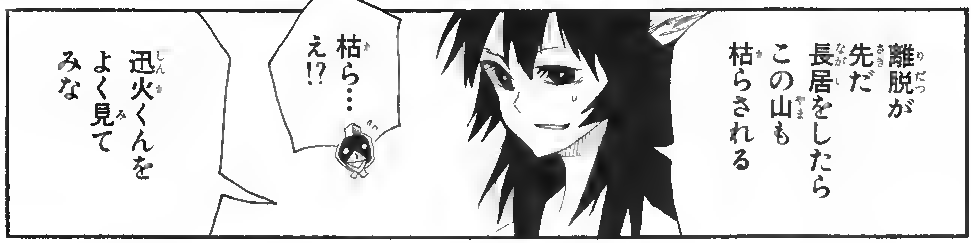


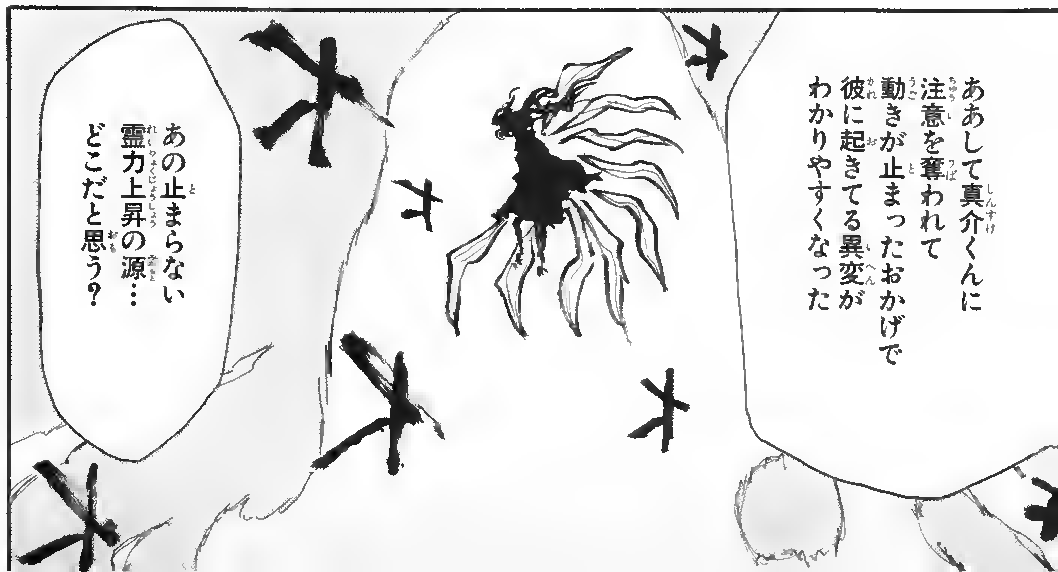
見たか
一太刀!!
芍薬…!!
火岩…!!
バリー…
油断した…!!
あんな雑魚に…!!
野禅様!!

離せ!!
あっ
迅火!!
真介!!
真介さん!?
りんず!
あっちから
たまさんの
声が!!
ギミ
くそ
今ので
幻術が
切れた!!
……
バカを
山神にけしかける
策が…
ドサ
ジっ…

ヤミ
……!!

!
やはり…
カラスども!!
急いでりんずを回収!!
ここを離脱する!!
ヌシ様!?
野禅への天誅は
いいんですか?

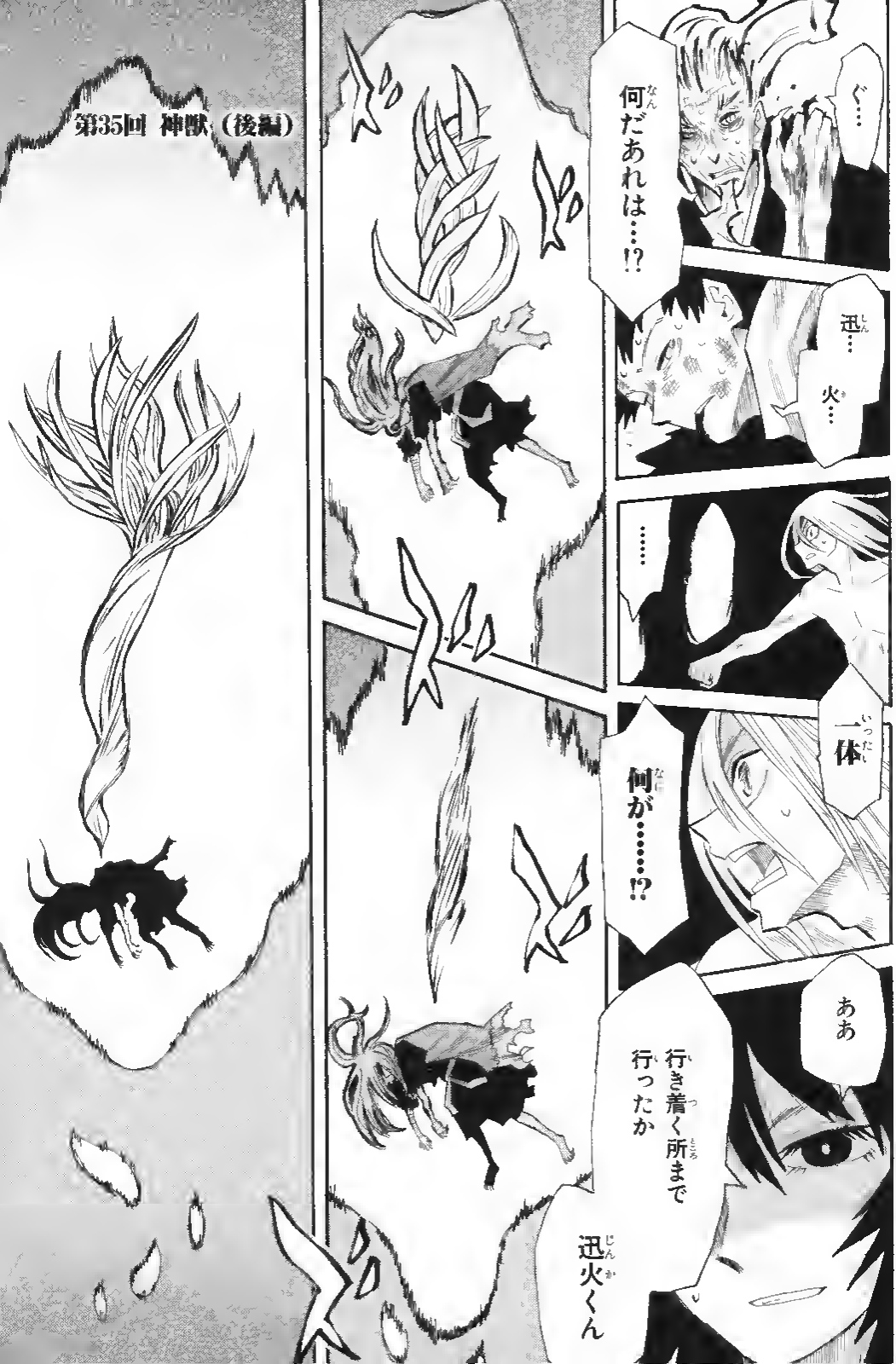

離脱が
先だ
長居をしたら
この山も
枯らされる
枯ら…
え!?
迅火くんを
よく見て
みな


ああして真介くんに
注意を奪われて
動きが止まったおかげで
彼に起きてる異変が
わかりやすくなった
あの止まらない
霊力上昇の源…
どこだと思う?

木が枯れた!?
先程喰った泰山の霊気を
呼び水にして土地の精気を
吸い上げている
変化が急過ぎたのと
正気を失ったのとで
吸収の歯止めが効かないんだ

可哀想に
もう彼等の旅に
一件落着や
めでたしめでたしは
ない
辺り一面
枯れ野となりて
全滅
劇終だ

見ていろ
九尾を超える——
地枯らしの神獣の誕生だ……!!

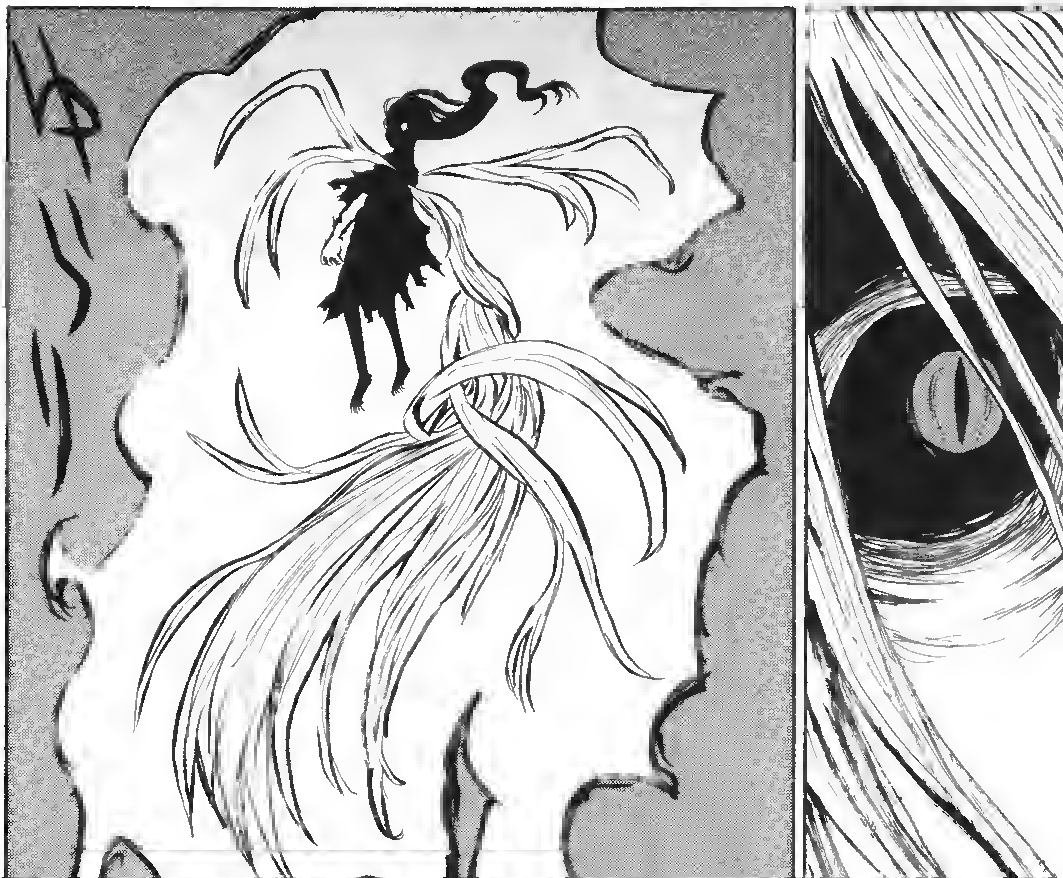

ぐ…
何だあれは…!?
迅…
火…
……
一体
何が……!?
ああ
行き着く所まで
行ったか
迅火くん

第35回 神獣（後編）

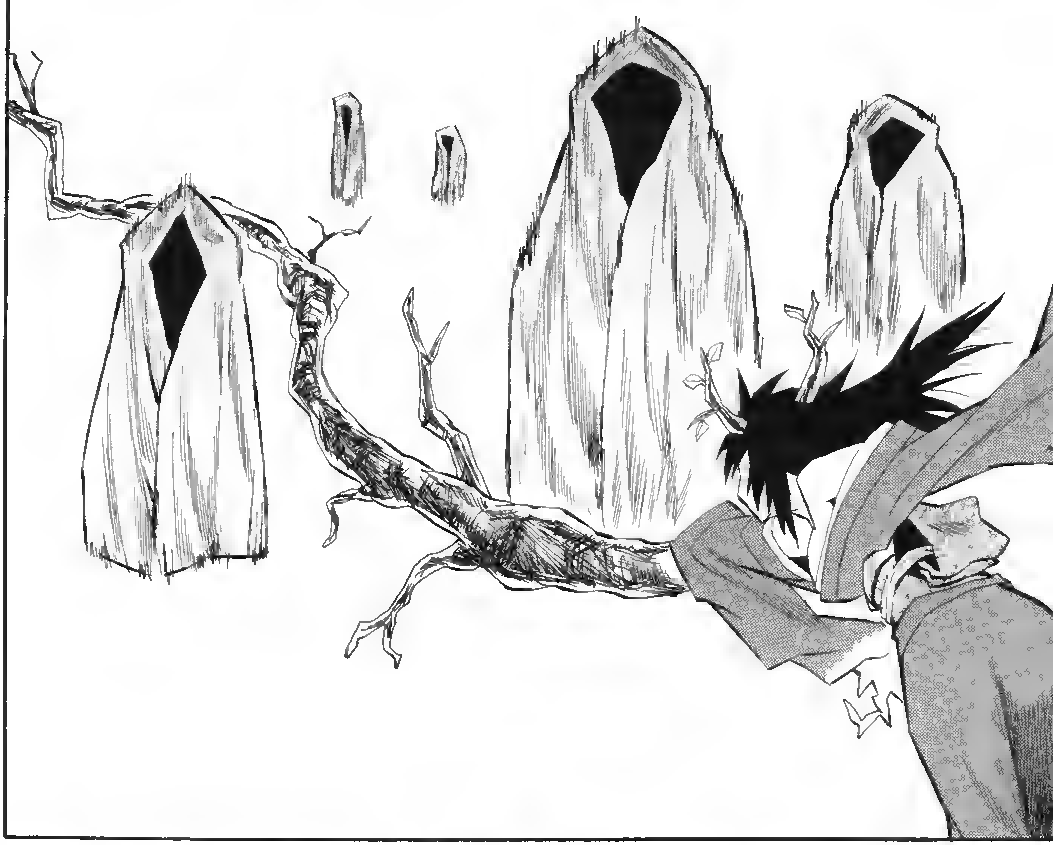
じ……
……!?
きゃわ
髪が!?
これは…
精霊転化で
繋がっていた
迅火くんが
力を得過ぎて
たまちゃんに
逆流してきた
んだわ…!
逆流…!?
だが
ちょ…
きゃ――!?
これだけ
霊力があれば
迅火の所まで
行け…
!?

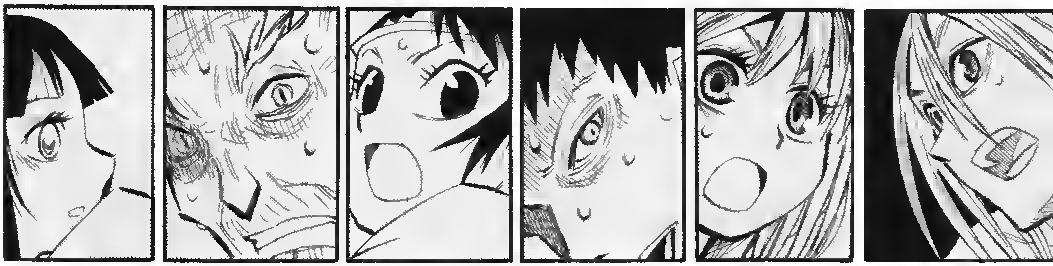
ちょ 何!?
いきなり
どこへ!?
迅火くんの暴走に
巻き込まれない
ように離脱する
んだ
離脱って…

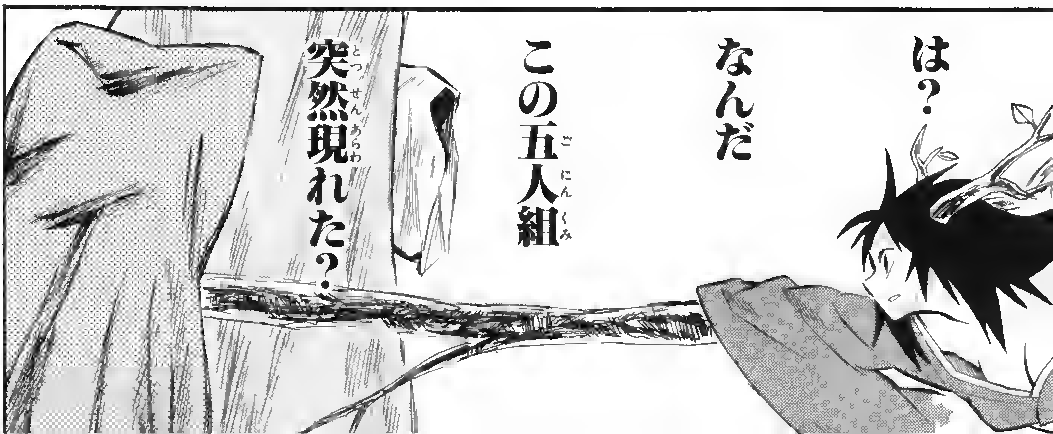
りんず!!
お姉様と
真介さんは!?
ダメだ
間に合わ
ない!!
そんな…



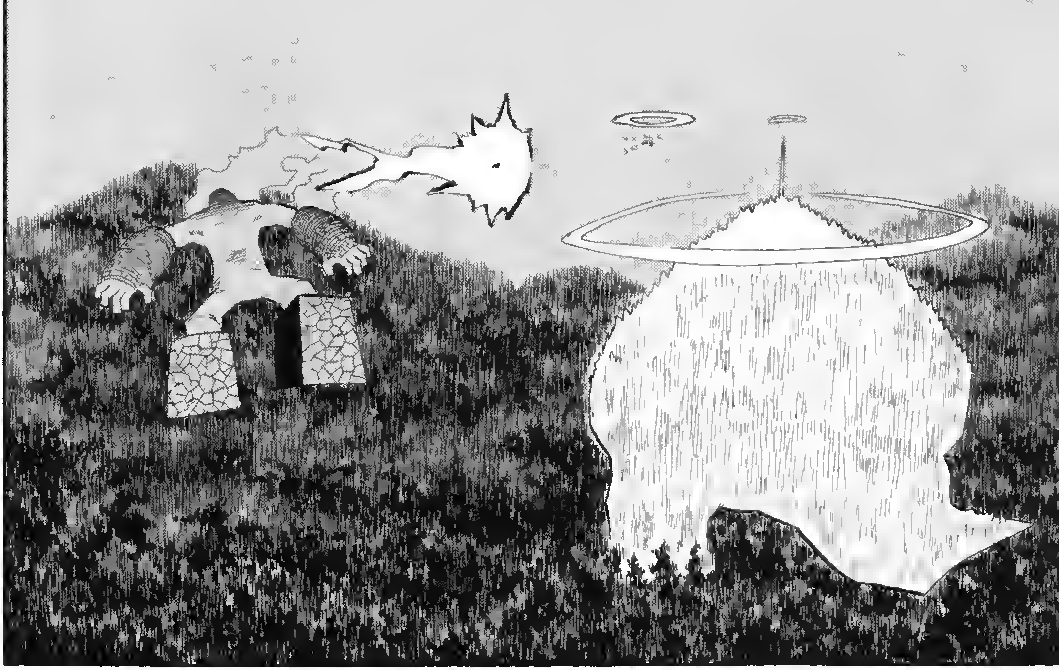
!?
こっち来たぁ!?
よせ!!
迅火!!
迅…
おい!!
もはや
見境なしか!?
りんっ…






は？
なんだ
この五人組
突然現れた？

…近づいて来る
希薄なのに無視できない
妙な存在感
なんて
長い一瞬…
ぼくに用？
いや
探し物…？
届いた！
転移帰還!!
だめ
まだ
お姉さまと
真す……



山が
消え…

掴んだ!?
やめ…

迅火!!
これ以上喰っ…
!!
ぐっ…
姉上!?
その髪…!?
やめろ!! 姉上がわからないのか!?
それが…
お前が望んだ姿か…迅火

やめろ!!
美しいな……
(うつく)
ヤ…

迅火…

精霊転化はとっくに解けているのに…
もう…戻れないのか？
……

覚えているか？
ここに来る前言ったこと

闇になれたら
夫婦になろう
と

嬉しかった
いいぞ
約束通り
夫婦になろう

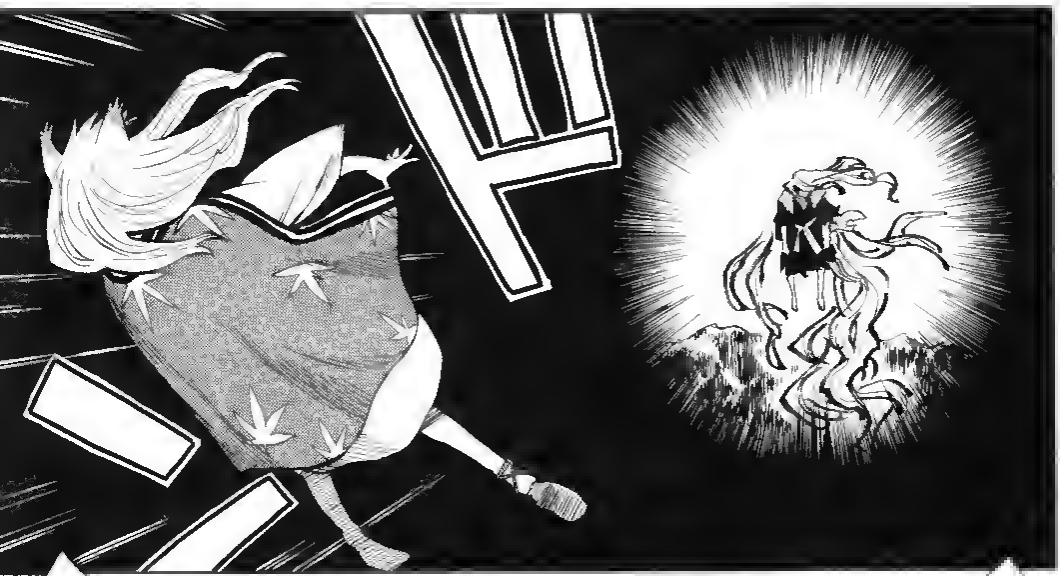
もう人の身に
戻れなくとも
おれがずっと
傍らに居る

おれがずっと
愛してやる
だからもう
喰うな
お前は…

強くなんか
ならなくても
いいんだ

!!

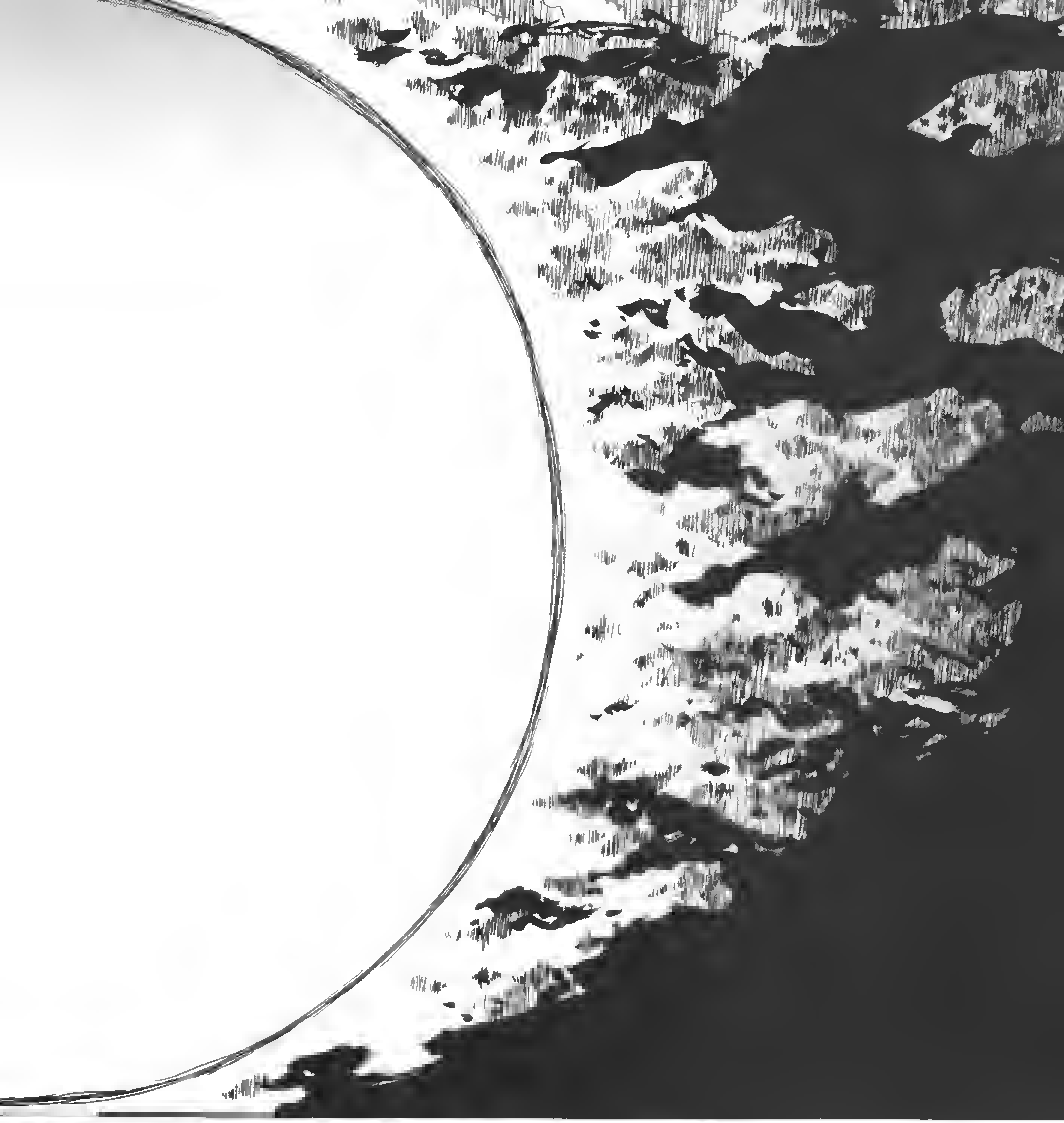
迅火…
たま…
……あ？
りんずが
呼んでる声
……？
ああ…魂寄せ
って…これ…

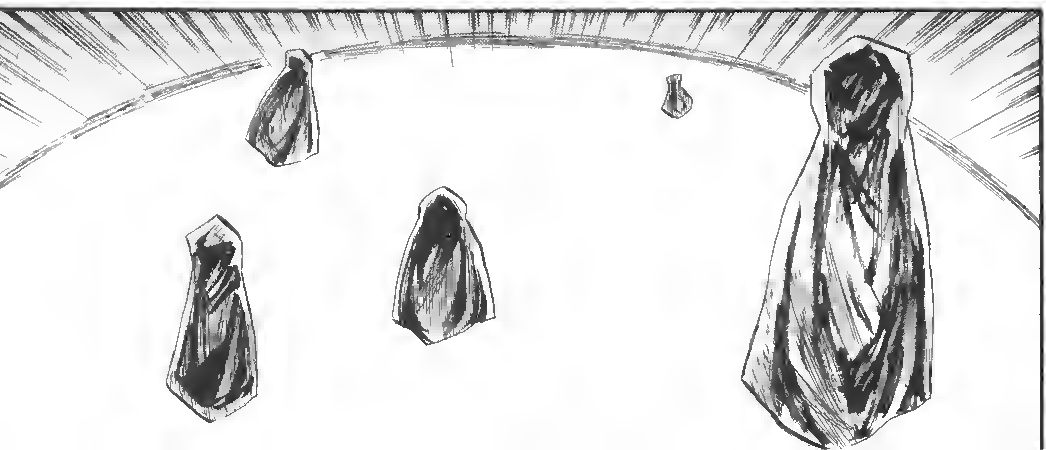


姉上!!
迅火!!

迅火
必ず
また…
姉上…
!!
霊力の吸収が
止まらない…
もういい!!
やめ…

!!
そうだ…
まだ終わって
いない…
あの男を
倒さねば…
人と闇に
仇なす者
野禅…!!
退魔師共の
山寺ごと
喰い滅ぼして
やる…





ジュ…
ハ!!!
あ…
現場に残してきた
見の式神がやられた…
一体何が
どうなった
のだ…!?
…多分あの
五人組が何かを
した…
あの山から
迅火くんの気配が
消えた
完全に
見失ったよ
もうどこに居るか
わからない

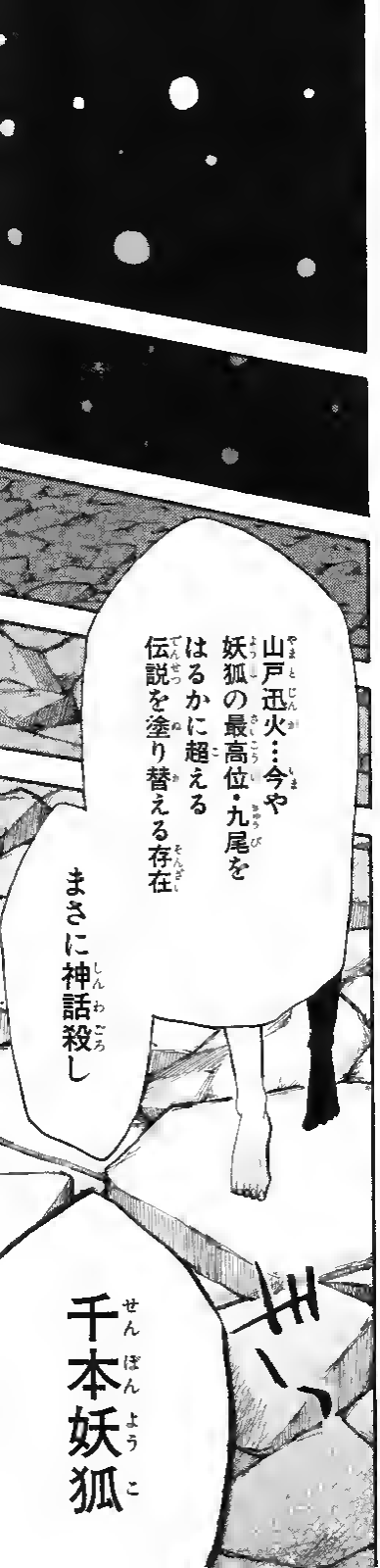
本当に一人で迅火様を捜しに…？
ヌシ様にも行方がわからないのに…
ああ
だがきっと生きているはずだ
真介を頼んだぞ
目を覚ましたら…すまないと伝えてくれ
じゃあ……
……また
…また…
あの時 何が起きたかはわからない
だが

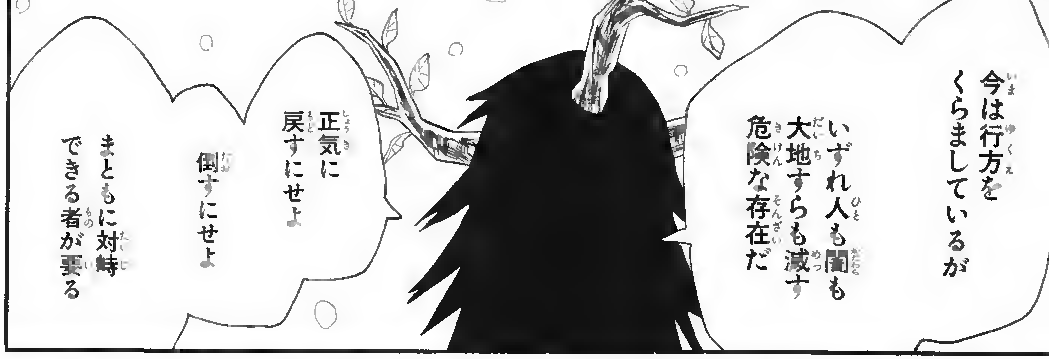
何年かかろうと
どこに居ようと
待っていろ 迅火
見つけてやるからな

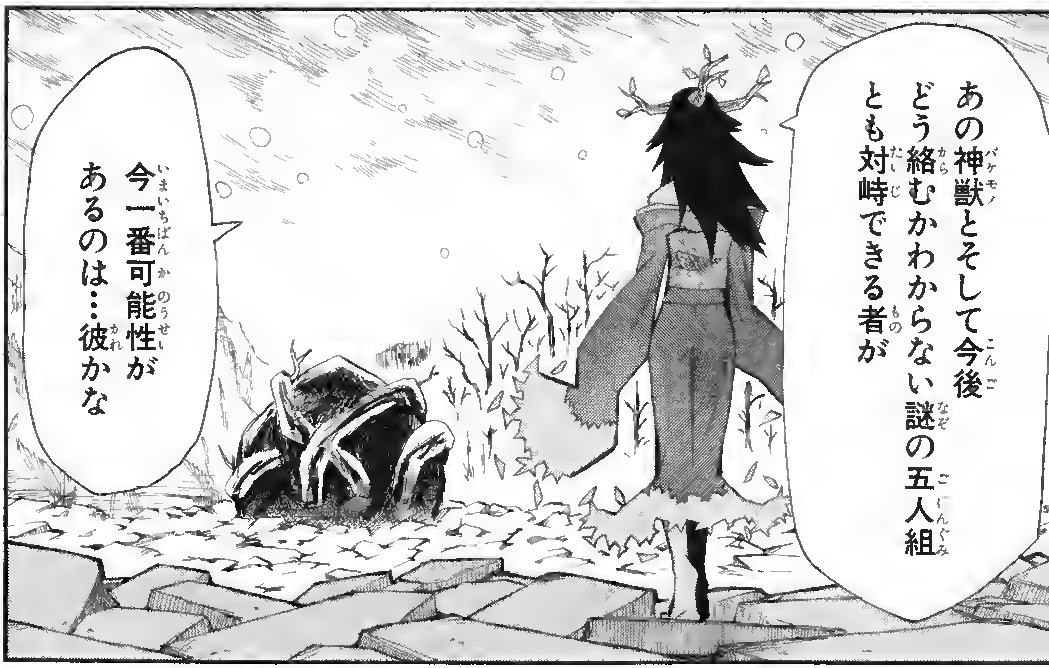
戦国妖狐

第一部 完

必ず!!







第二部へ続く

戦国妖狐 6

おわり

はあ
はあ
はあ
…しつこいな
なぜおれを追う
妖狐小歌
知れたこと
それはキサマが山戸家当主を呪い殺した
妖狐だからだ

源蔵は
おれの友だ
呪いなど
妖狐の言うこと
など誰も信じん
おれに罪を
着せる気か
その死体に
真ッ黒な濡れ衣を
着せてやる
「呪いの妖狐」の死体は
好事家に高く
売れるからなあ
!!

くっ
ズシッ
永禄年間
…戦国時代
あれしきで死ぬまい
捜すぞ
ザアアアア
！

やあ…
人と人との争いは
絶えなかったが

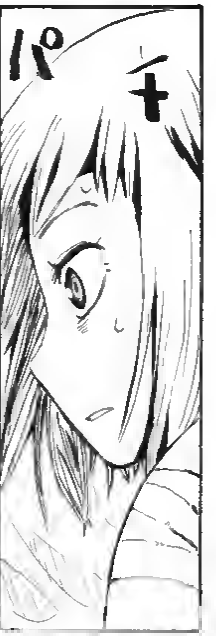
妖狐小歌

ようこしょうか

バサッ

おはよう
ございます

私の家です


パチ
…ここは…

どうぞ
……
体にいいですよ
……
そうか…こいつに助けられて
害なんか入ってないですよ
……この声…こいつ男か
女みたいな顔し…
ずこー
不ッ味ううう
どうですお味は？
えっ…あ…悪くない…かな…
へえ

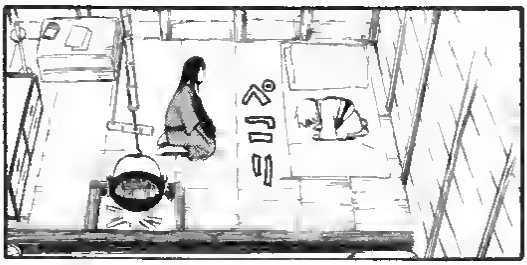
変わってますねえ
こんな不味い
薬草汁を

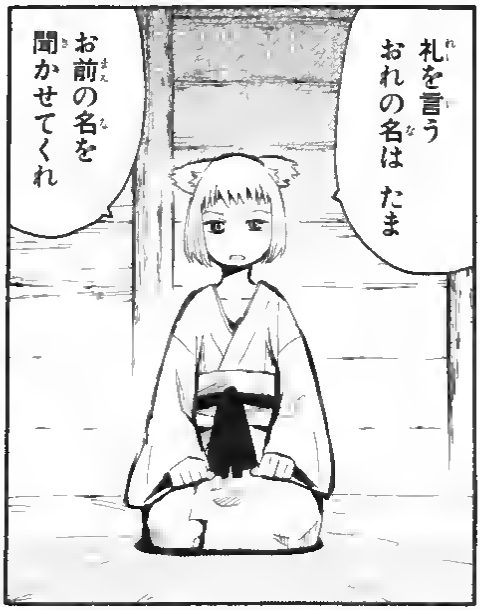
あっはっは

私なんか
とてもじゃないけど
飲めませんよ

こらえろ…
こいつは
命の恩人
だ…!!

ああでも
ひっぱたき
たい…

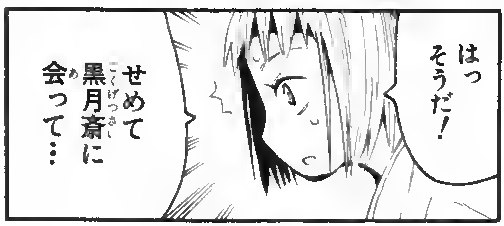




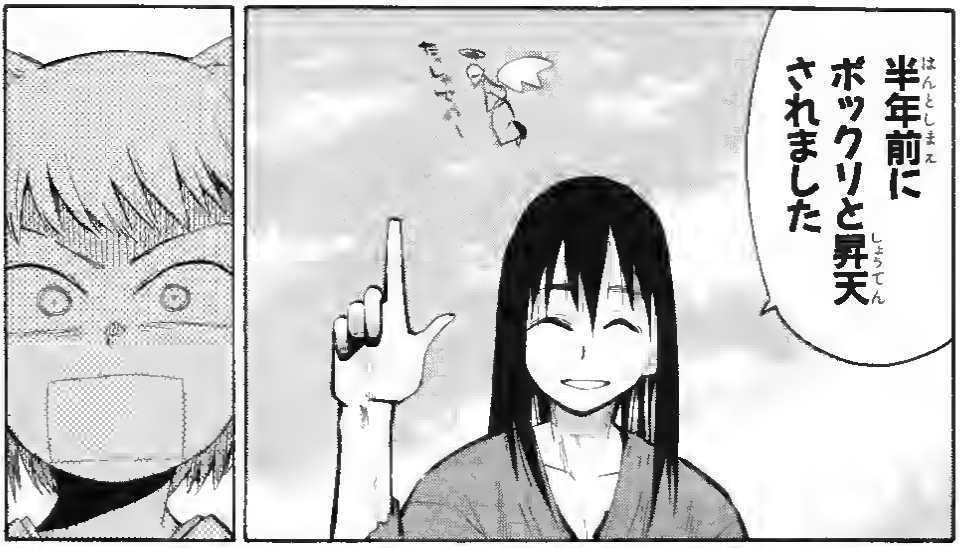
ありがたいが
急ぐ旅なのだ
この文を
黒月斎なる
人物に届けねば
ならぬ…
……
ぐしゃ
ぐしゃ〜

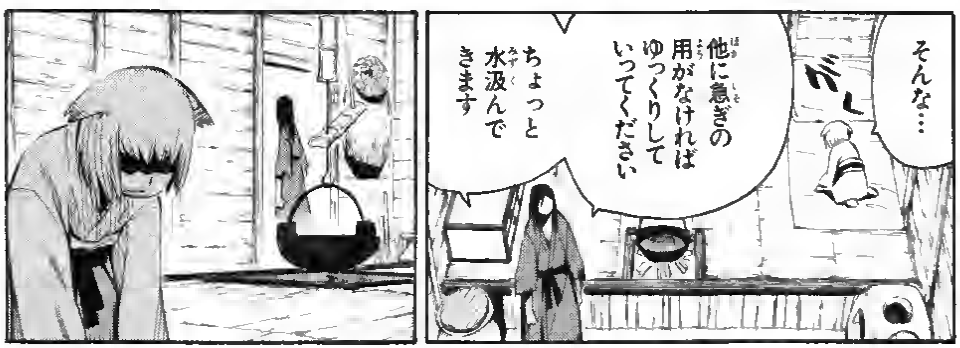
ひどい雨
でしたから
ねえ…
あーあ
書き直して
もらうことは
できないんですか

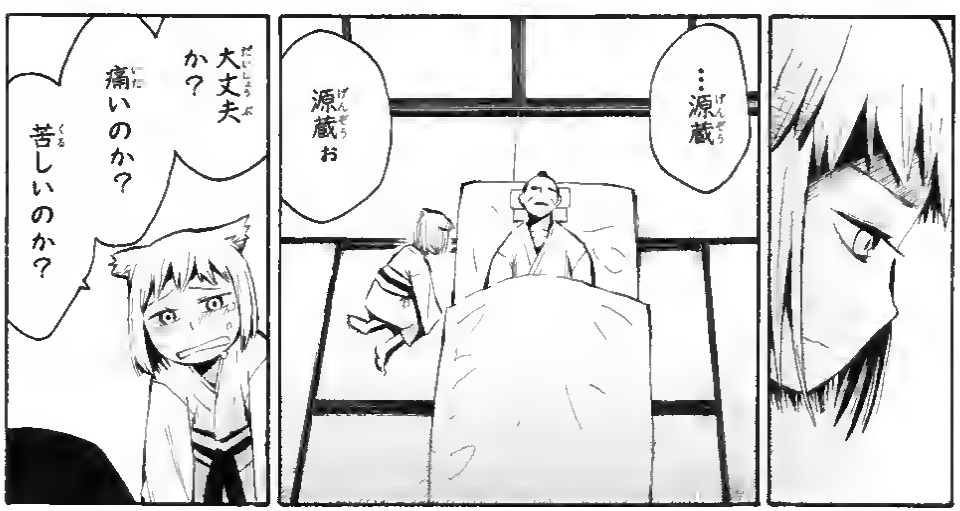
無理だ…
これを書いた源蔵は
もう死んでるし
何を書いたかも
聞いていない…


はっ
そうだ!
せめて
黒月斎に
会って…

知らんか?
この辺に住んでる
仙人らしいのだが
ああ!
黒月斎
さまなら
ぽん


半年前にボックリと昇天されました


そんな…
他に急ぎの用がなければゆっくりしていってください
ちょっと水汲んできます


…源蔵
源蔵ぉ
大丈夫か？
痛いのか？
苦しいのか？

たま……
この文を…
黒月斎
さまに……
届けるのか？
わかった
任せろ
必ず
だから
死ぬな
すま…ん
もう…毬で
遊んでや…れな…
源蔵の
最期の頼み
はッ
はッ
必ず届ける

必ずと
誓っておきながら

このザマ

何て…
何て無力…

うっ…

うう…

泣くほど
痛むか？

けひひひ
見つけ
たぜ

それとも
何か？

人間サマに
義理でも
感じてんのか？

!!

ケダモノの
くせによお

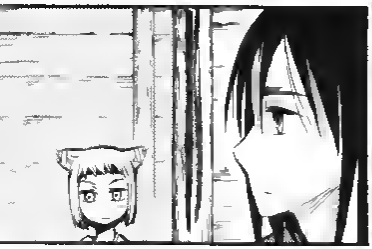
キサマ…

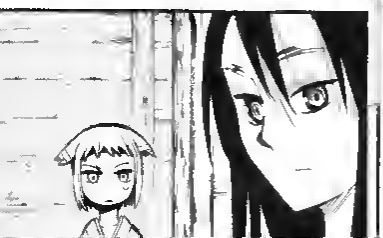
しかし人家に潜り込むたあナマイキな…
ん？
ちょっと待ってな
今お前ん家に妖怪が入り込ん…
なんだあ小僧家主か？
ぐえあッ
迅火！
なにしやがる
その娘の正体は…
彼女は私の客人です
引ッ込んでろくそガキ!!

ごべッ!?
ばん
妖…いや式神か!?
何者だテメエ!?

仙道黒月斎が
一番弟子
迅火

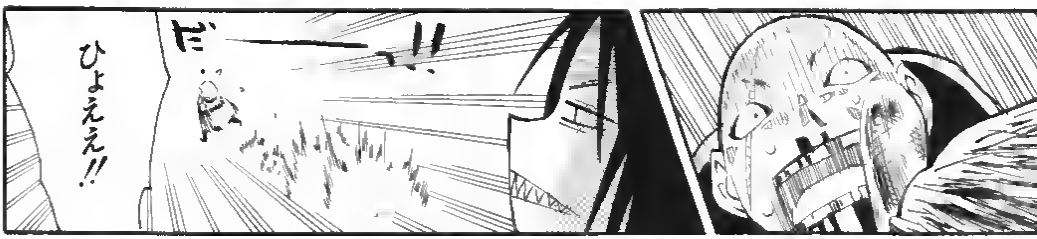
仙道ォ
!?

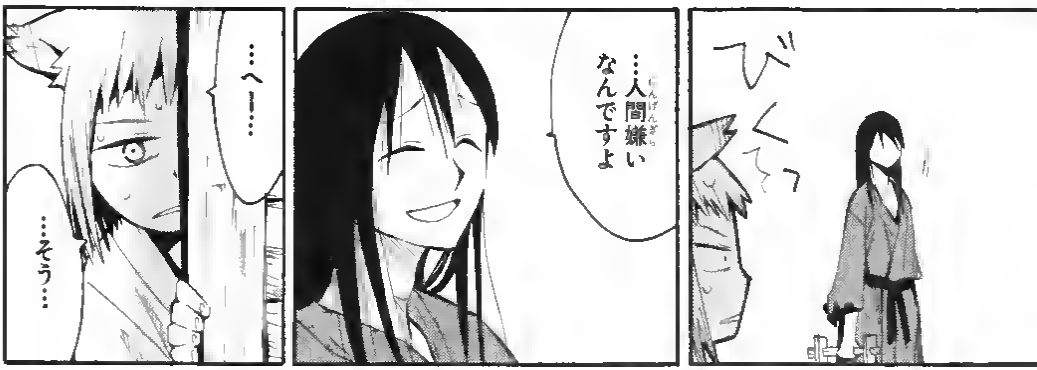




そッ…そいつはなあ
飯を恵んだ男の良心に
付け込んで取り憑き
恩知らずにも
呪い殺した
100歳の妖狐だ
かばえば
キサマも
憑かれるぞ!!

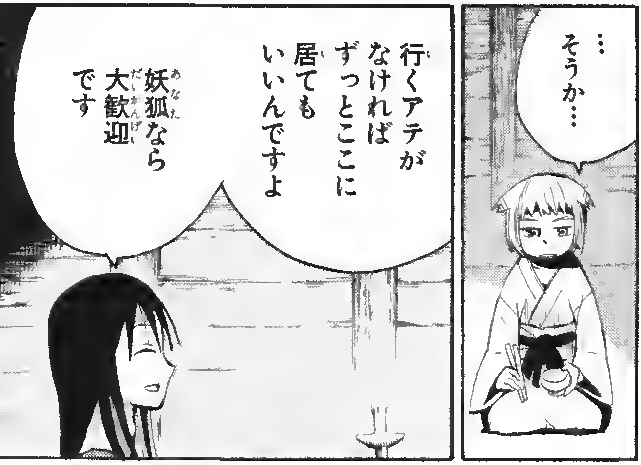
人間の言など
誰が信じるか
失せろ
裂くぞ!!


ひょえええ!!


びくっ
…人間嫌いなんですよ
…へー…
…そう…

…本当に
山戸源蔵を
知らんのだな？

ええ
その人が師匠に
どんな用が
あったのか…
見当も
つかない
ですね


…
そうか…
行くアテが
なければ
ずっとここに
居ても
いいんですよ
妖狐なら
大歓迎
です

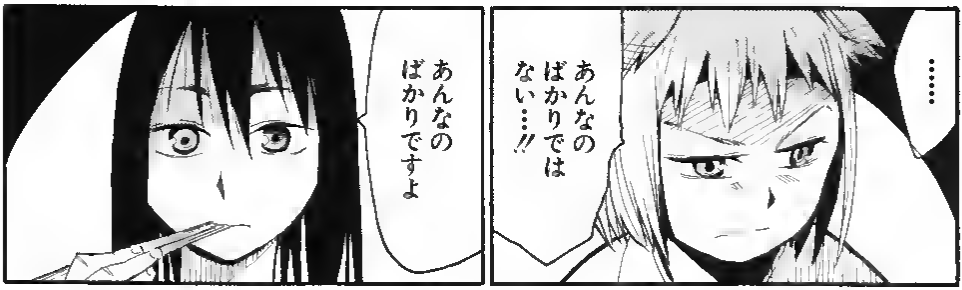
…源蔵も
そうだった
おれを妖狐と
知ってて
仲良くして
くれた

最初は道端で
腹を空かせてたおれに
にぎり飯をくれた
そのうち屋敷に
招いて毬で
遊んでくれた
ずっと
一緒だった

でも…
病気で…

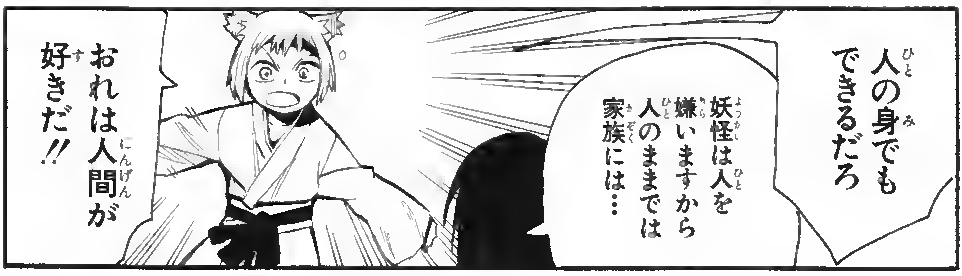
変わってますねぇ
妖狐なのに
人のために
泣くなんて
友を悼んで
何が悪い！
おれは人間が
好きだ!!

お前こそ
なんなんだ
人間のくせに
人間が嫌いなど
あなたを
追いまわし
矢を射かけた
のも人間ですよ


……
あんなの
ばかりでは
ない…!!
あんなの
ばかりですよ

源蔵はいい奴だった!!
お前だっておれを
助けてくれたじゃ
ないか!!
妖狐と見抜いて
いたからです
人なら
見殺しに
してましたよ
……

きょうだい!?
いずれ私は師の秘術を完成させ人の身を捨てます
そしたら義兄妹になりませんか?
夢なんです
困ってる妖怪が居たら助けて匿って家族を増やして
この山でいつまでも皆でのんびりと暮らすのです


人の身でもできるだろ
妖怪は人を嫌いますから人のままでは家族には…
おれは人間が好きだ!!

あなたを追いまわし矢を…
無限ループが!!
話戻るなよ!!
じゃああなたはぼくが人のままでも構わないんですね
では…

私のことは兄と呼んでください！

さあかわいい妹よ兄の胸に飛び込…まんわ!!

つーか誰が妹だ!!

大体兄ってお前いくつだおれは100歳の妖狐だぞ!!

ふんっガキめ

おれの方がお姉さんじゃないか

では姉上その胸に飛び込んでいいですか

いや！だから姉弟になるとは言ってない!!

大体お前…なぜそこまで人間を嫌う？

…嫌いだから嫌いなんです

理由などありません

そうかよ

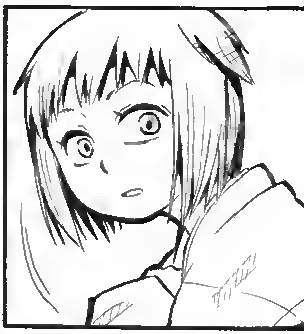
おれにもお前と姉弟になる理由はない

ゆえに
おれは
去る！
世話になったな
えっ 今？
夜ですよ？
いや行く
どこへ
どこかへ
どこかって
どこだよ…

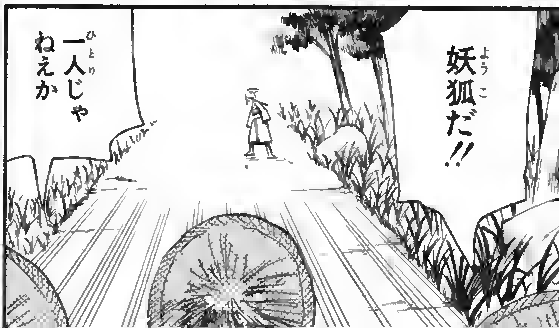
源蔵と会う前
…おれ普段
何してたっけ…

ざっ
ざっ

だから
黒月斎の弟子
っつーのに
やられたんだって
なにい？
黒月斎の
弟子っつったら
オメェ…
…あっ兄者!!
あそこ
ああ？

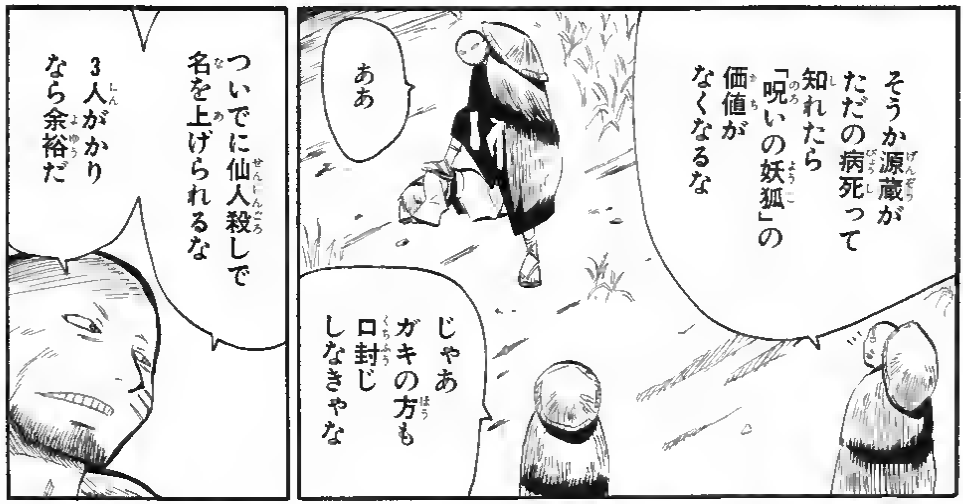


ちっ…！
ダッ


妖狐だ!!
一人じゃ
ねえか

ッ!!
破魔の
あッ
ひょー!!
当たったぁ
くくく…
ザ、
あぐっ!!
キツネぇ
山戸のガキャア
どこだ!?
…!?

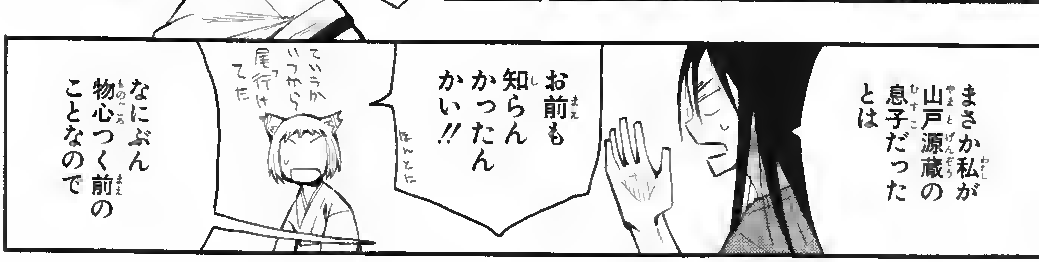
兄者
ガキって？
黒月斎の
弟子は
山戸源蔵の
息子だ
こいつあ
源蔵の死を
息子に
伝えに走ってた
んだよ
兄者
情報通～
迅火が…
源蔵の息子？！


そうか源蔵が
ただの病死って
知れたら
「呪いの妖狐」の
価値が
なくなるな
ああ
じゃあ
ガキの方も
口封じ
しなきゃな
ついでに仙人殺しで
名を上げられるな
3人がかり
なら余裕だ

おれガキの家
憶えてっからよ
とりあえず先に
この小汚えキツネ
殺っちまおうぜ

どう
やる
腹裂いて
内臓出して
縫い直しや
キレイな死体に
なるさ
兄者 足
離す
なよ…
いや…
源蔵オ…
ひゃははは
ガキのくせに
色っぺえ声
出しやがる!!
っつっても
100歳か
このバケモン
ぺぴ

兄者――!!
話は全て聞かせてもらいました
迅火!!


まさか私が山戸源蔵の息子だったとは
お前も知らんかったんかい!!
なにぶん物心つく前のことなので
こいつから尾行けてた

しかし!!
これは運命ですよ
姉上!!
二人は父の縁で出会ったのですから
もとより家族も同然ではないですか!
姉上え!?

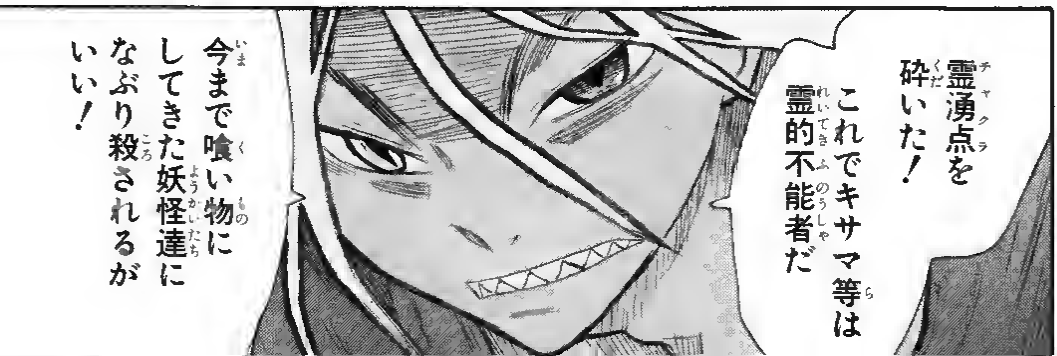
兄者！
こいつだ
丁度いい!!
まとめて
殺るぞ!!
奴らお前を
殺す気だ！
逃げろ!!
はい？
ではこちらも
姉弟の力を
合わせて
戦いましょう
！
おっおれは
戦う力など
持ってない
ぞ!?
霊力を
借ります
これは妖怪に
近づくために
編み出した
秘術です
びく
血を…失礼
え…
おい!?

ん――ッ!?
精霊転化
待ってください姉上
今
へ――たっ
人間共を
ハッ裂きにしてきますから

三幻変化
喰妖神!!
おお
おお

おおおおお
い…一撃!?

ッらあ


霊湧点を砕いた！
これでキサマ等は霊的不能者だ
今まで喰い物にしてきた妖怪達になぶり殺されるがいい！

……

キレイ…

姉上！

姉弟愛の勝利です！

っ…

おまえっ…

…じゃあ禁断の姉弟愛

姉弟愛は接吻などしない…！

マセガキ…！

数日後

うん…
大体読めた

解読できたんでナカ
あの状態から

ああ
源蔵が
字を教えて
くれたしな

なんて？

お前のこと
すまないと
思ってるって

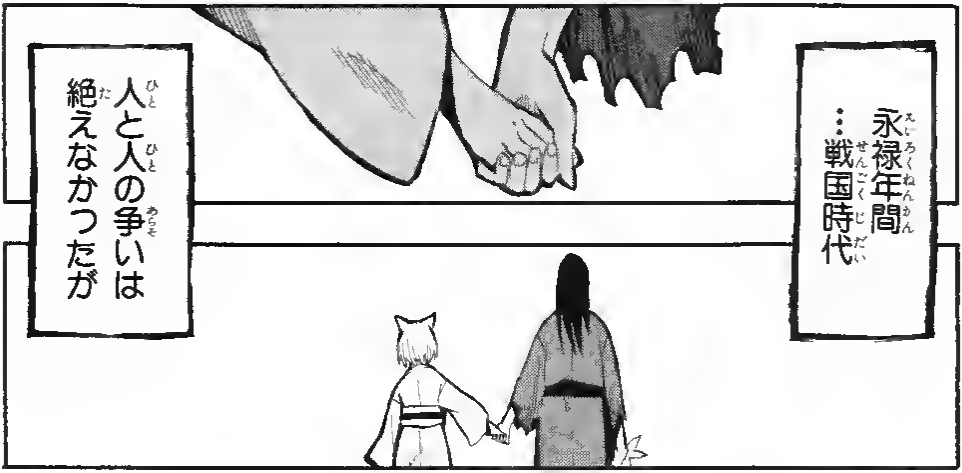
いずれ山戸家の
ためになるかと
思って仙人に
預けたそうだが

…もう家のことは
気にせず好きに
生きてほしいそうだ

…それとおれの
面倒も見て
やってくれってさ…

…なあ
お前の
人間嫌い
って…

親に捨て
られたと
思ったからか？



人と闇とが
手を取り
合っていた
時代だった

戦国妖狐
第6巻

作画スタッフ
　とんぷ
　小林あべし
　石坂ケンタ
　蝶田じゅえる

タイトルロゴ
　赤羽美保

カバーデザイン
　行徳ゆみ(オン・グラフィクス)

担当編集
　宮本幸則

戦国妖狐 ⑥

2011年3月25日初版発行
2011年5月30日2刷発行

■著者
水上悟志
©SATOSHI MIZUKAMI 2011

■発行人
保坂嘉弘

■発行所
株式会社マッグガーデン

〒101-8434　東京都千代田区神田神保町2-1　岩波神保町ビル6F
（編集）TEL：03-3515-3872　FAX：03-3262-5557
（営業）TEL：03-3515-3871　FAX：03-3262-3436

■印刷所
中央精版印刷株式会社

■装幀
行徳ゆみ on Graphics

初出／月刊コミックブレイド2010年8・9・11・12月号、2011年1月号、
2007年9月号

無断転載・上演・上映・放送を禁じます。
乱丁・落丁本はお取り替えいたします。
但し古書店で購入したものはお取り替えできません。
定価は表紙カバーに表示してあります。

ISBN978-4-86127-833-4　C9979

Printed in Japan

本作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件等には一切関係ありません。